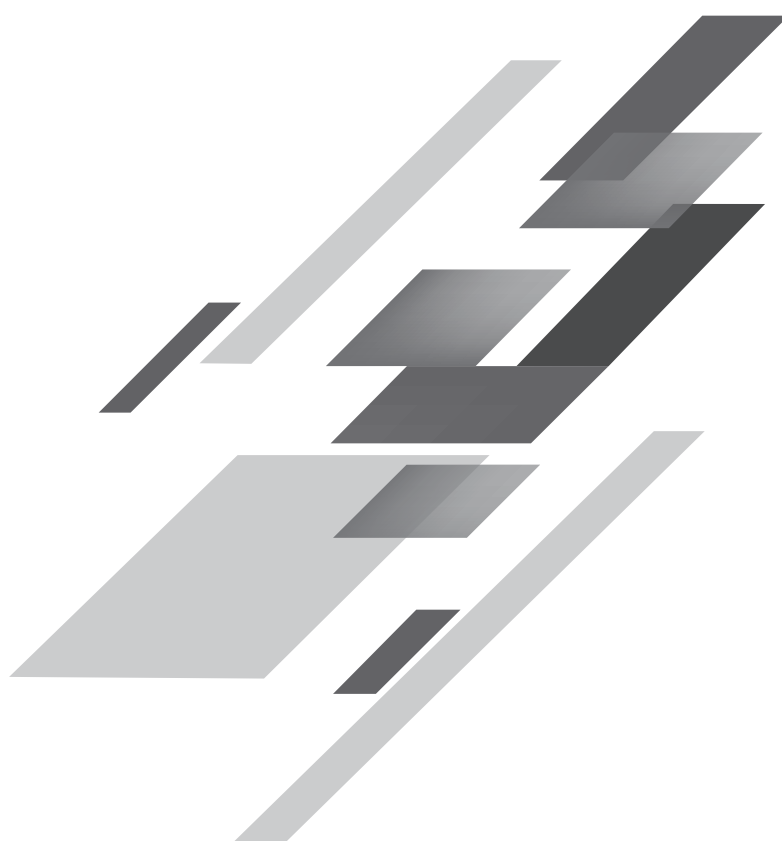


第8回千葉県不動産市場動向に 関するアンケート調査結果

(令和2年8月1日調査時点)



令和2年12月

公益社団法人 千葉県不動産鑑定士協会
調査研究委員会

目 次

はじめに	2
【1】 千葉県内不動産市場動向アンケート調査の概要	
1. 調査の目的	3
2. 調査結果の分類方法	3
【2】 千葉県内不動産市場動向アンケートの結果（令和2年8月1日時点）	
問1 年初（令和2年1月1日）と比較した住宅地の地価動向	4
問2 年初（令和2年1月1日）と比較した商業地の地価動向	6
問3 年初（令和2年1月1日）と比較した工業地の地価動向	8
問4 年初（令和2年1月1日）と比較した住宅地の取扱件数	10
問5 年初（令和2年1月1日）と比較した商業地の取扱件数	12
問6 年初（令和2年1月1日）と比較した工業地の取扱件数	14
営業地域についての個別的・具体的な内容（分科会別）	16
【3】 千葉県内不動産市場動向アンケート結果の分析（動向指数）	
住宅地の地価の動向指数（問1の回答より分析）	23
商業地の地価の動向指数（問2の回答より分析）	25
工業地の地価の動向指数（問3の回答より分析）	27
住宅地の取引件数の動向指数（問4の回答より分析）	28
商業地の取引件数の動向指数（問5の回答より分析）	30
工業地の取引件数の動向指数（問6の回答より分析）	32
【資料】 調査票	34

はじめに

公益社団法人 千葉県不動産鑑定士協会

会 長 増 間 真 一

令和2年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中が未曾有の危機に瀕しています。感染し亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、病床にある方の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

また、医療の現場で大変なご苦勞をいただいている医療従事者の皆様には、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、新型コロナ禍で、人や物の動きが滞り世界の経済は大きな打撃を受けております。我が国の第1四半期実質GDP（第二次速報値）は、年率換算でマイナス28.1%と戦後最大の落ち込みになりました。第2四半期はその反動で、プラス22.9%（第二次速報値）と4四半期ぶりのプラス成長となりましたが、新型コロナ以前には戻っておらず先行きは極めて不透明です。

この状況下で、不動産の取引や価格はどのような影響を受けているのか、その動向を把握するため、当協会では県内不動産取引業の皆様のご協力をいただき、臨時的なアンケート調査を実施いたしました。

このほど、結果の概要を取りまとめましたので、公表することといたしました。関係各位のご参考としていただければ幸いです。

アンケート調査の実施にご協力いただきました皆様には、改めてお礼申し上げますとともに、今後とも、当協会の運営について一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【1】千葉県内不動産市場動向アンケート調査の概要

1. 調査の目的

千葉県内不動産市場動向アンケート調査は、前回調査から4年ぶり、第8回目となります。

令和2年の当初より始まった新型コロナウイルス禍の困難な社会状況の中で、不動産市場の推移に関する実感はどうか。実際に不動産の売買業務に携わっておられる県内の不動産取引業者の皆様方のご協力のもとに、現場の声をお聞きしました。

- (1) 実施時期 令和2年8月
- (2) 調査方法 郵送によるアンケート調査
- (3) 発送数 1,303件
- (4) 回収数 296件 (回収率22.7%)

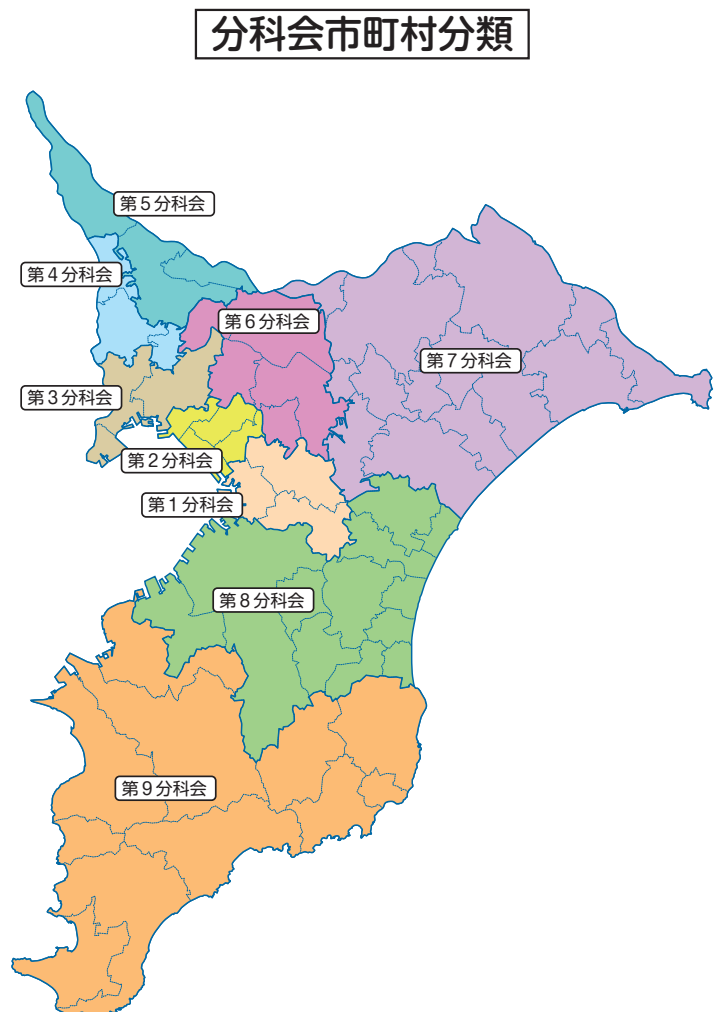
2. 調査結果の分類方法

各不動産業者の「県内における取扱件数の最も多い市区町村」を下記の『分科会』ごとに分類し集計した。

*この分類方法は、国交省が行う地価公示の分割区分を参考とした。

【 】内の地域名は、便宜上、独自に付したものである。

第1分科会	【千葉市中央・東部地域】： 千葉市中央区 若葉区 緑区
第2分科会	【千葉市西部及び習志野市地域】： 千葉市花見川区 稲毛区 美浜区 習志野市
第3分科会	【東葛南部地域】： 市川市 船橋市 浦安市
第4分科会	【東葛中部地域】： 松戸市 流山市 鎌ヶ谷市
第5分科会	【東葛北部地域】： 野田市 柏市 我孫子市
第6分科会	【印旛西部及び八千代市地域】： 佐倉市 八千代市 四街道市 印西市 白井市
第7分科会	【印旛東部、香取、海匝、山武北部地域】： 銚子市 成田市 旭市 八街市 富里市 匝瑳市 香取市 山武市 酒々井町 栄町 神崎町 多古町 東庄町 芝山町 横芝光町
第8分科会	【山武南部、長生、上総北部地域】： 茂原市 東金市 市原市 袖ヶ浦市 大網白里市 九十九里町 一宮町 長生村 白子町 長南町 長柄町 睦沢町
第9分科会	【上総南部、安房、夷隅地域】： 館山市 木更津市 勝浦市 鴨川市 君津市 富津市 南房総市 いすみ市 御宿町 大多喜町 鋸南町



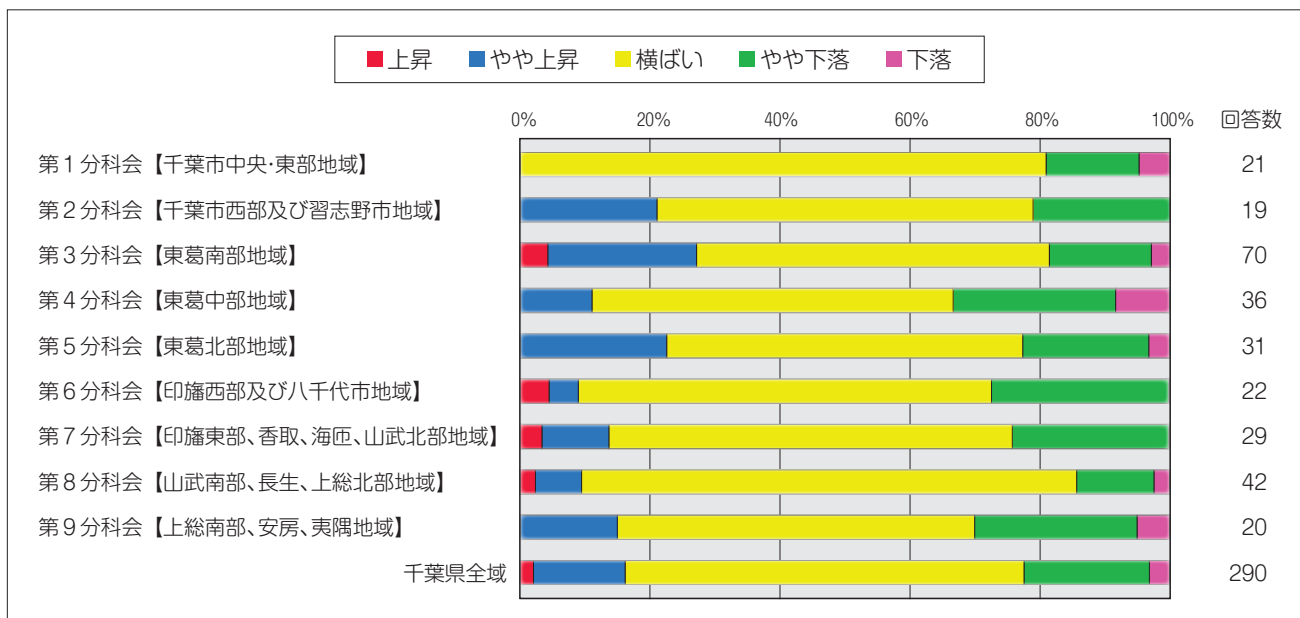
【2】千葉県内不動産市場動向アンケートの結果（令和2年8月1日時点）

問1 住宅地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、
年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

	上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落
戸建用地	2.1%	14.1%	61.4%	19.3%	3.1%
マンション用地	1.7%	14.2%	60.7%	19.2%	4.2%
農家集落地	0.0%	3.6%	51.4%	29.5%	15.5%

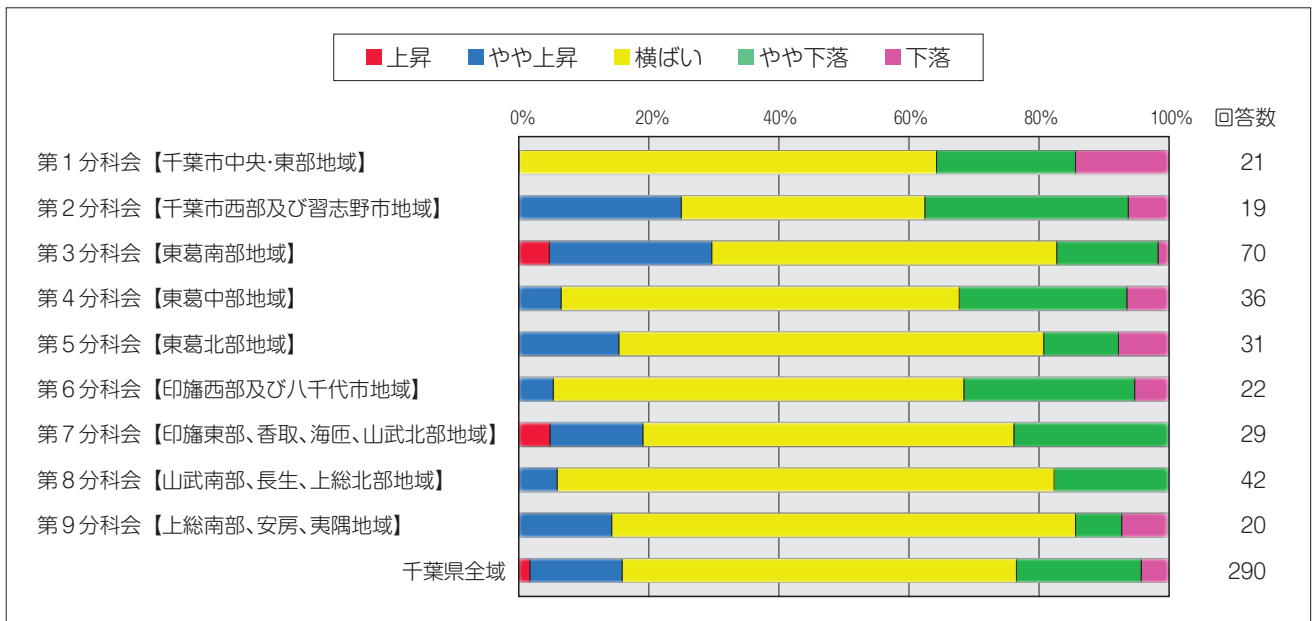
【戸建用地の地価】

戸建用地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」、「やや上昇」となっている。



【マンション用地の地価】

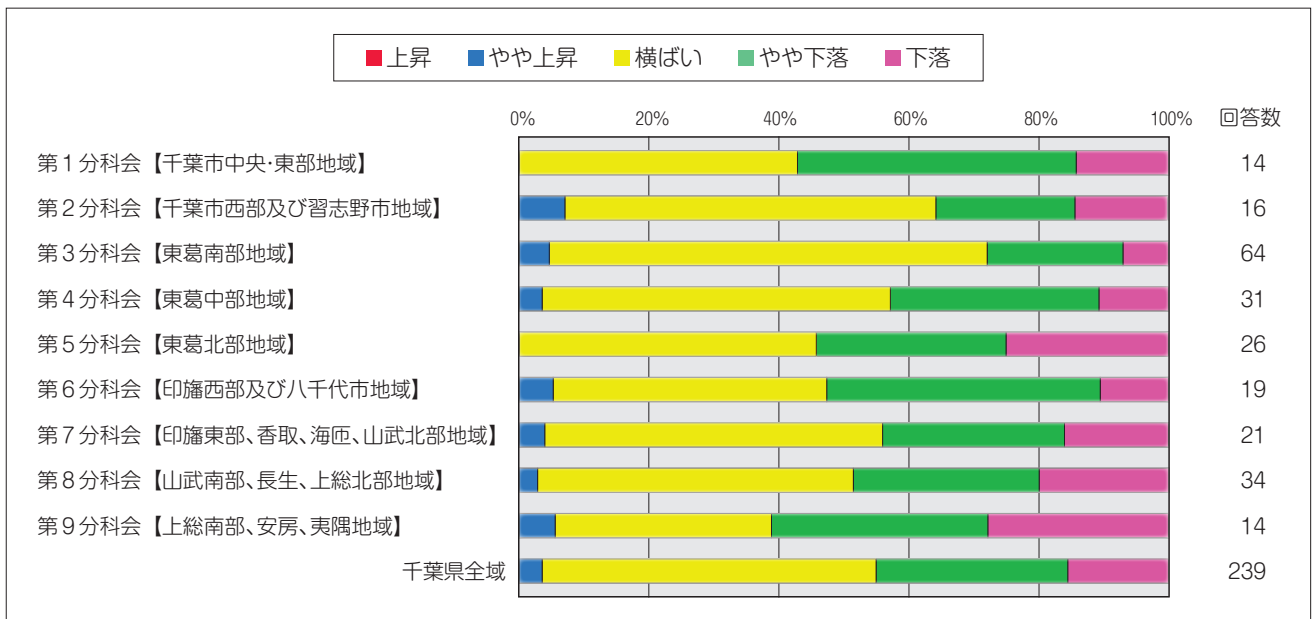
マンション用地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」、「やや上昇」となっている。



【農家集落地の地価】

農家集落地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」、「下落」となっている。

農家集落地は、他の住宅地と比較して「やや下落」及び「下落」の回答が多いのが特徴である。

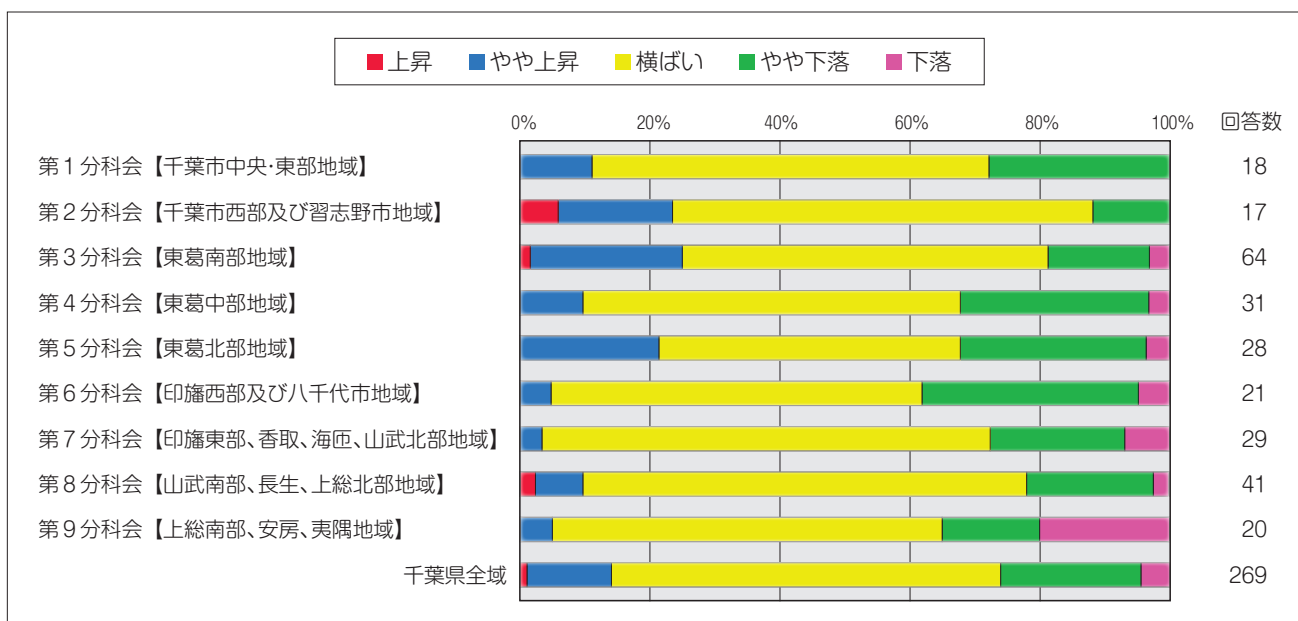


問2 商業地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、
 年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

	上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落
旧来の商業地	1.1%	13.0%	59.9%	21.6%	4.5%
路線商業地	1.1%	17.9%	58.8%	18.3%	3.8%
観光地	0.9%	7.9%	58.9%	21.0%	11.2%
オフィス街	0.4%	11.2%	57.8%	22.4%	8.2%

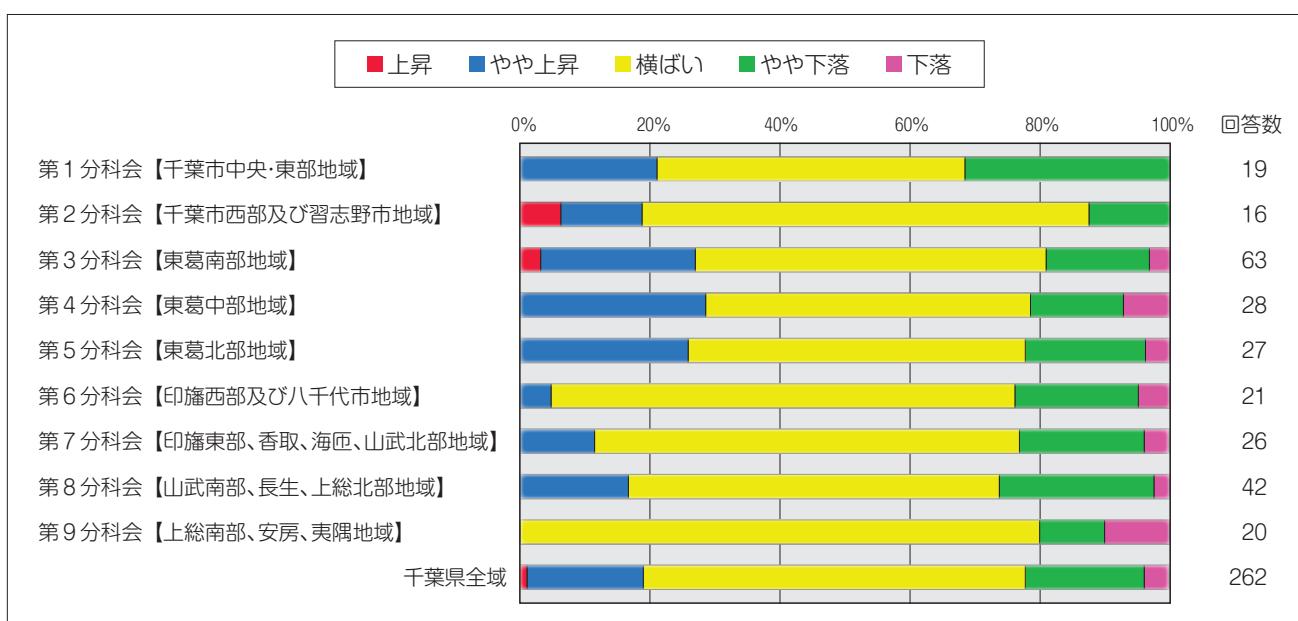
【旧来の商業地の地価】

旧来の商業地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」となっている。



【路線商業地の地価】

路線商業地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」と「やや上昇」がほぼ同数となっている。

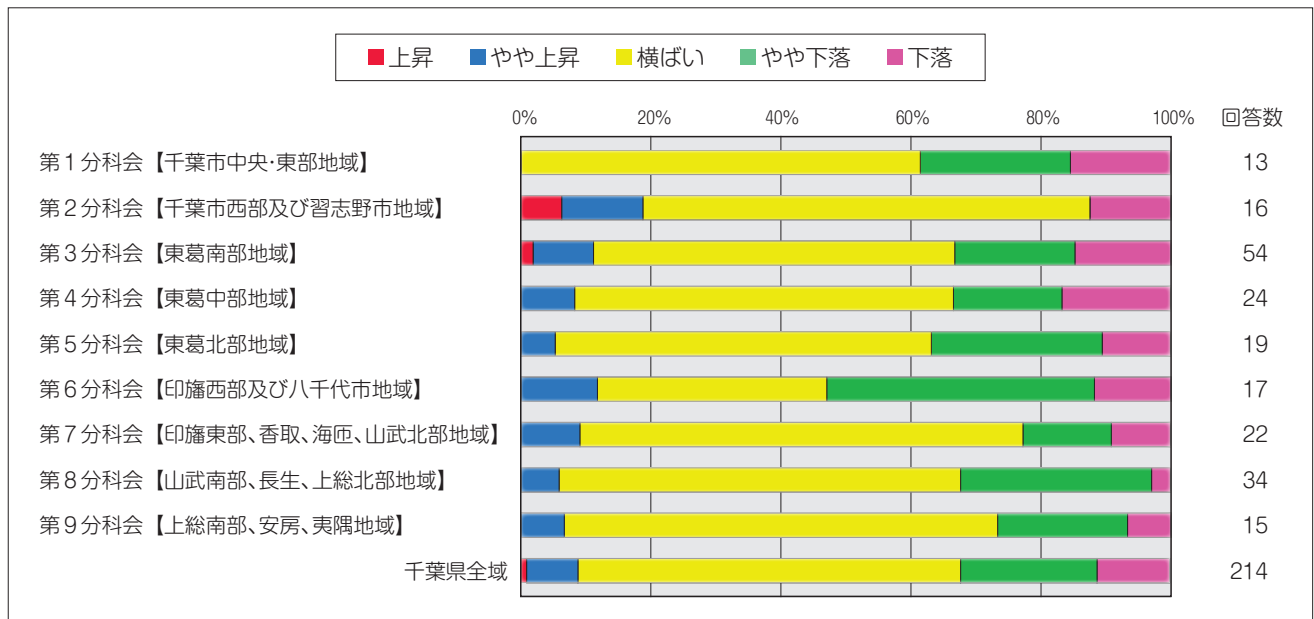


【観光地の地価】

観光地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」となっている。

観光地では「下落」の回答割合が「やや上昇」の回答割合よりも多い。

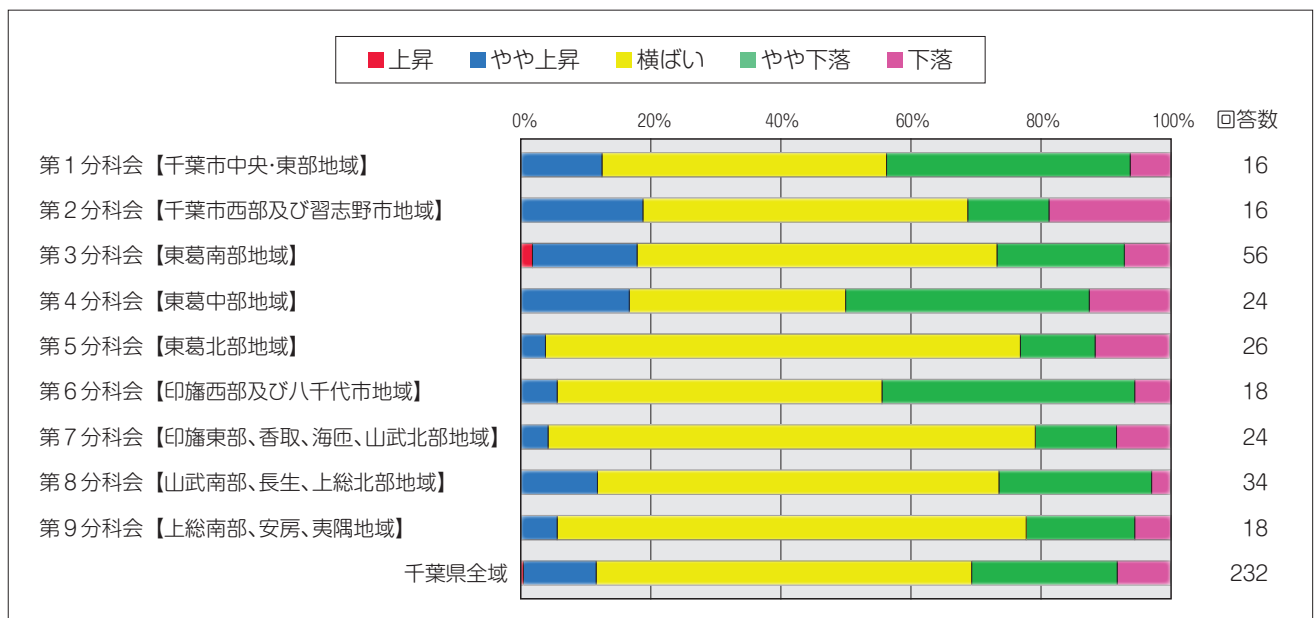
第6分科会では「下落」及び「やや下落」の回答が多く、同分科会内の50%以上を占めている。



【オフィス街の地価】

オフィス街の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」となっている。

第4分科会では「下落」及び「やや下落」の回答が多く、同分科会内の50%を占めている。

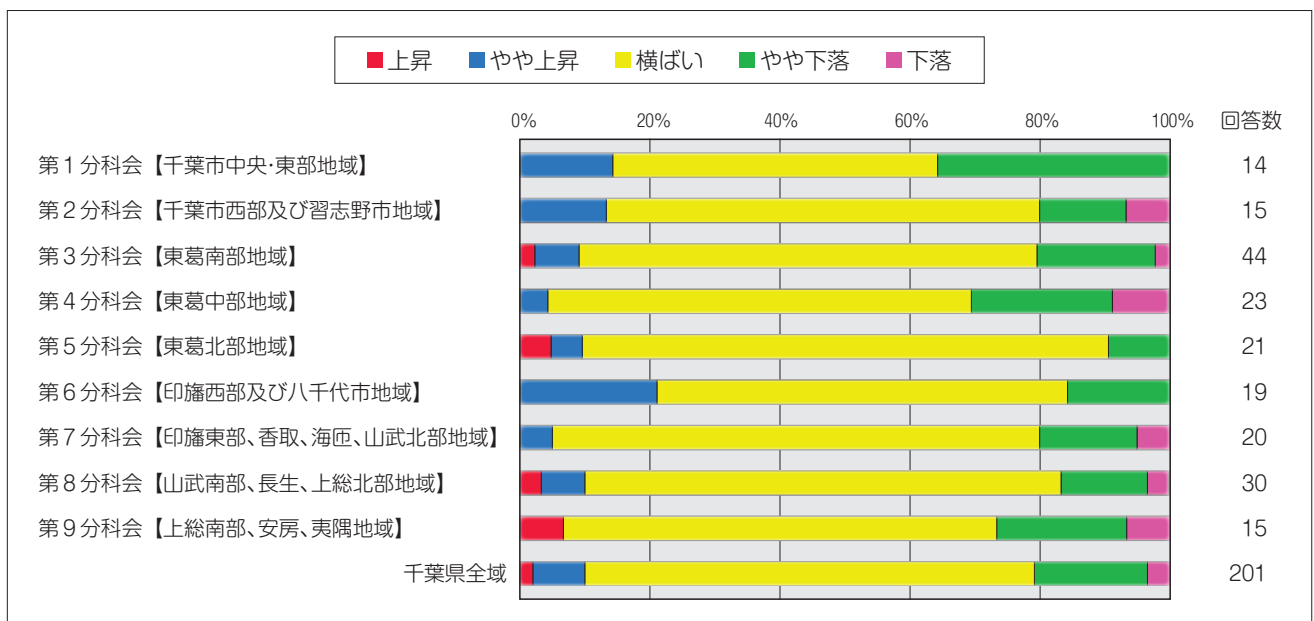


問3 工業地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、
年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

	上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落
製造業等の工業地	2.0%	8.0%	69.2%	17.4%	3.5%
輸出産業の多い工業地	3.8%	12.6%	63.9%	16.9%	2.7%
倉庫等、流通業務用地	2.0%	16.1%	64.4%	14.6%	2.9%

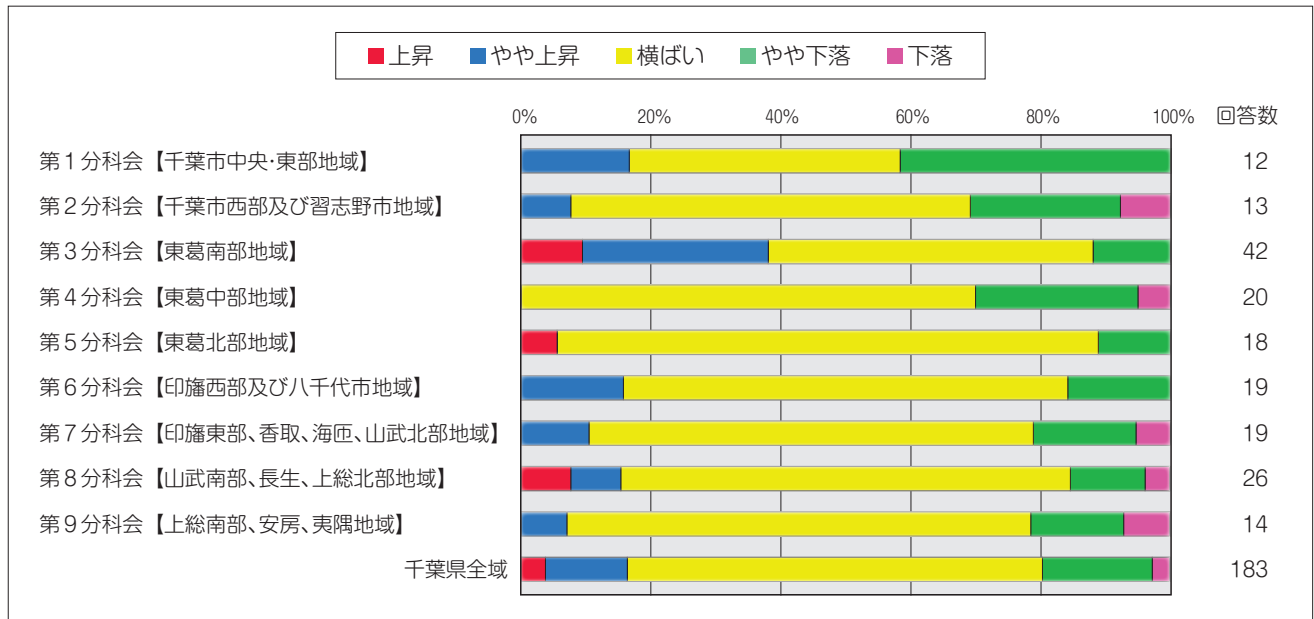
【製造業等の工業地の地価】

製造業等の工業地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」となっている。



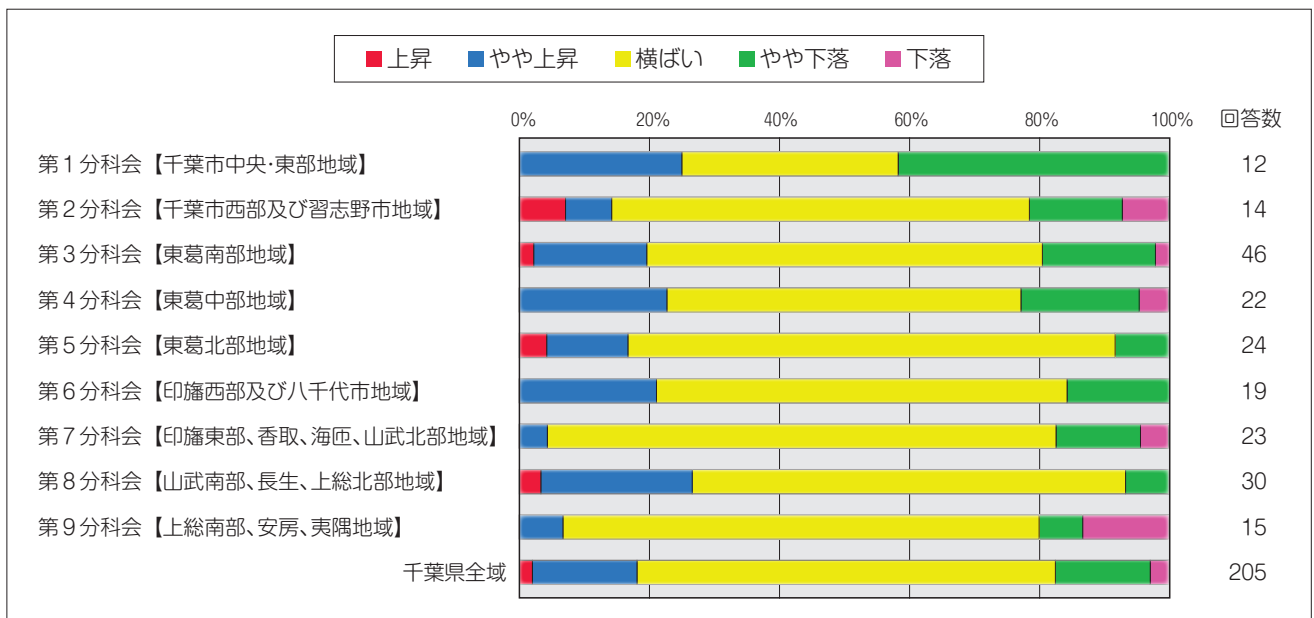
【輸出産業の多い工業地の地価】

輸出産業の多い工業地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや下落」となっている。
 なお、第3分科会では「上昇」及び「やや上昇」の回答が比較的多く、同分科会内の約40%を占めている。



【倉庫等、流通業務用地の地価】

倉庫等、流通業務用地の地価は「横ばい」の回答が最も多く、次いで「やや上昇」となっている。
 なお、第1分科会では「やや下落」の回答が最も多く、同分科会内の約40%を占めている。

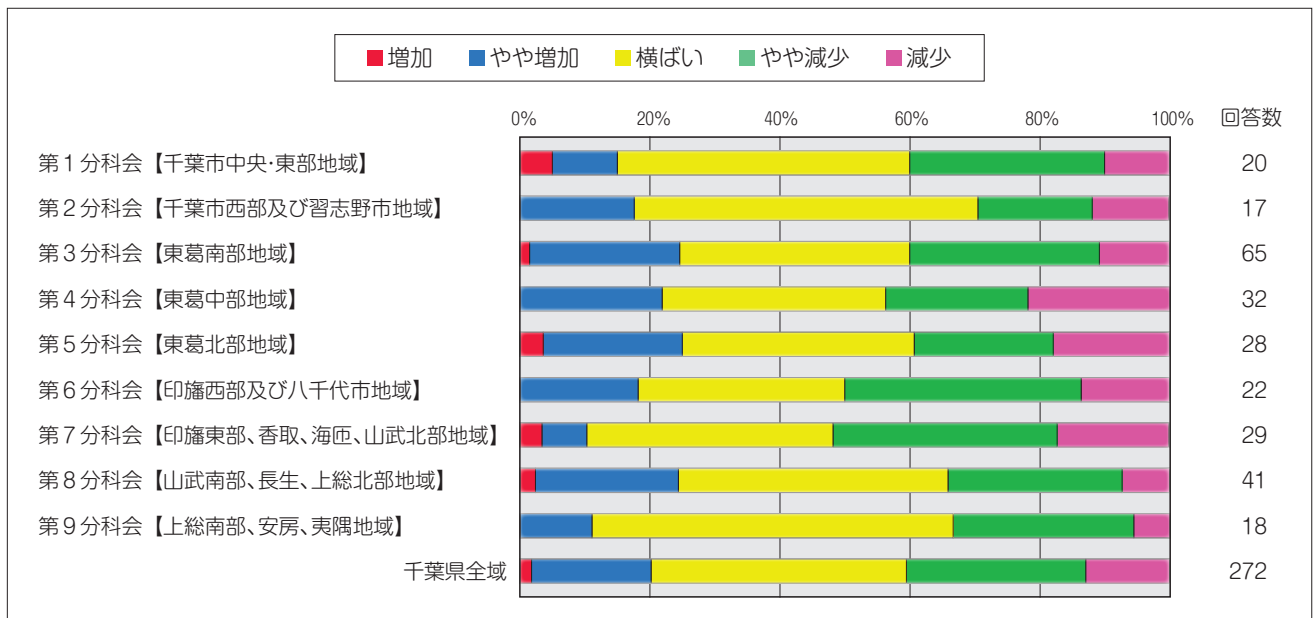


問4 住宅地の現在（令和2年8月1日）の取扱件数は、
年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少
戸建用地	1.8%	18.4%	39.3%	27.6%	12.9%
マンション用地	0.9%	6.9%	47.7%	27.8%	16.7%
農地集落地	0.5%	3.9%	47.8%	28.8%	19.0%

【戸建用地の取扱件数】

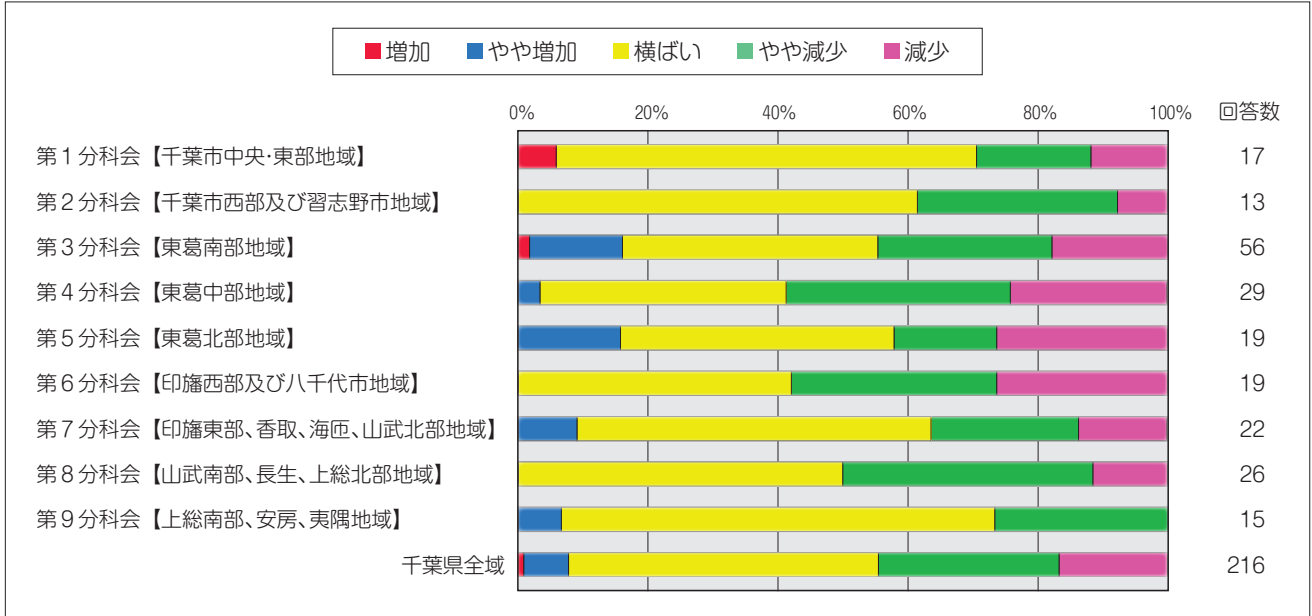
戸建用地の取扱件数は、「やや減少」及び「減少」の回答の合計が、「横ばい」の回答よりも多い。
なお、第6分科会、第7分科会では、「減少」及び「やや減少」の回答の合計が比較的多く、同分科会内の約50%を占めている。



【マンション用地の取扱件数】

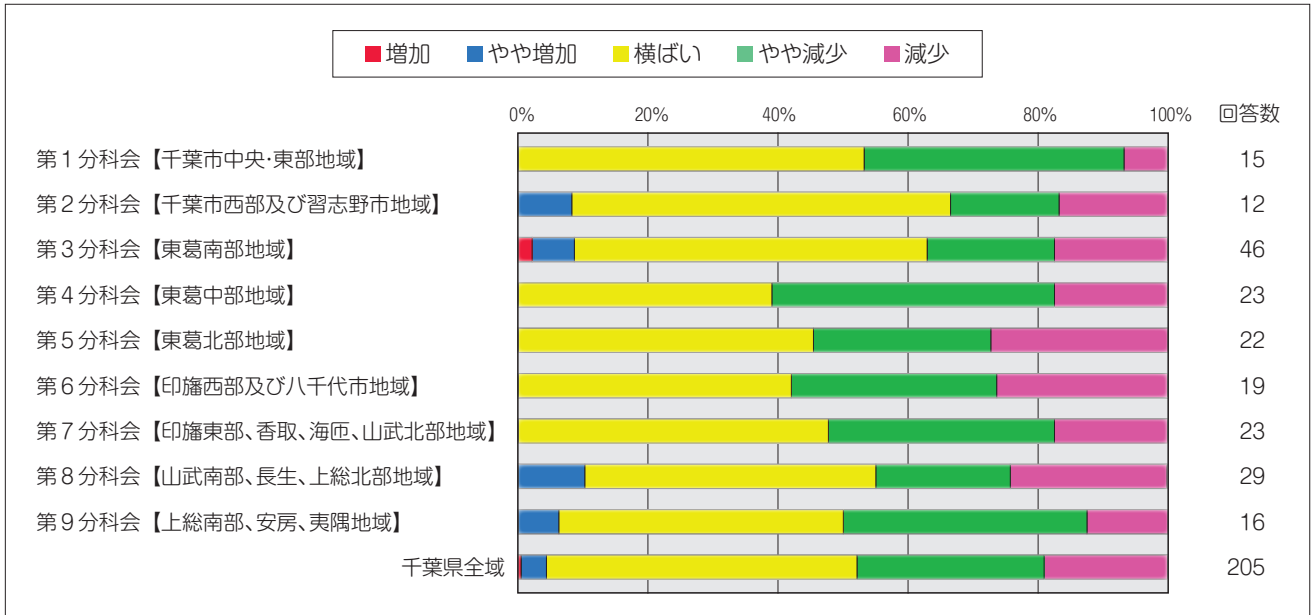
マンション用地の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多いものの、「やや減少」及び「減少」の回答も比較的多く見られる。

なお、第4分科会、第6分科会では、「減少」及び「やや減少」の回答の合計が比較的多く、同分科会内の約60%を占めている。



【農地集落地の取扱件数】

農地集落地の取扱件数では、「やや減少」及び「減少」の回答の合計が、「横ばい」の回答と同数である。農地集落地の取扱件数は、「減少」の回答が比較的多いのが特徴である。

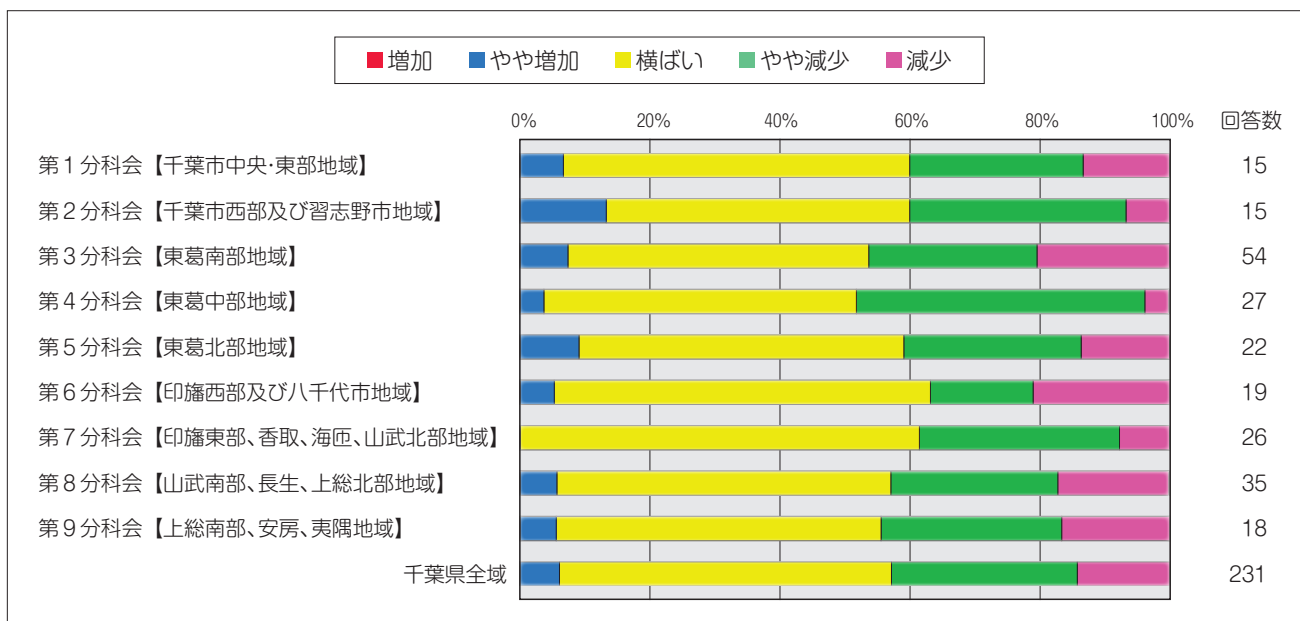


問5 商業地の現在（令和2年8月1日）の取扱件数は、
年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少
旧来の商業地	0.0%	6.1%	51.1%	28.6%	14.3%
路線商業地	0.0%	6.7%	53.6%	24.1%	15.6%
観光地	0.5%	2.1%	49.0%	29.9%	18.6%
オフィス街	0.0%	4.4%	52.7%	25.6%	17.2%

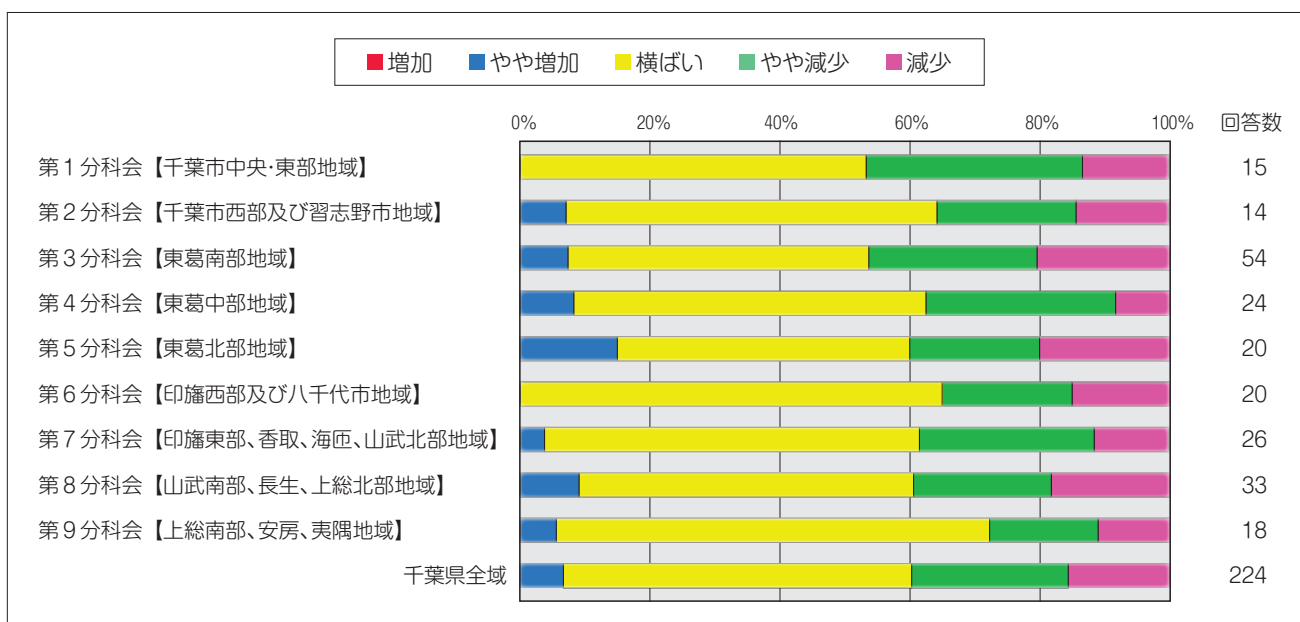
【旧来の商業地の取扱件数】

旧来の商業地の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多い。次いで「やや減少」、「減少」となっており、「やや増加」の回答は比較的少ない。



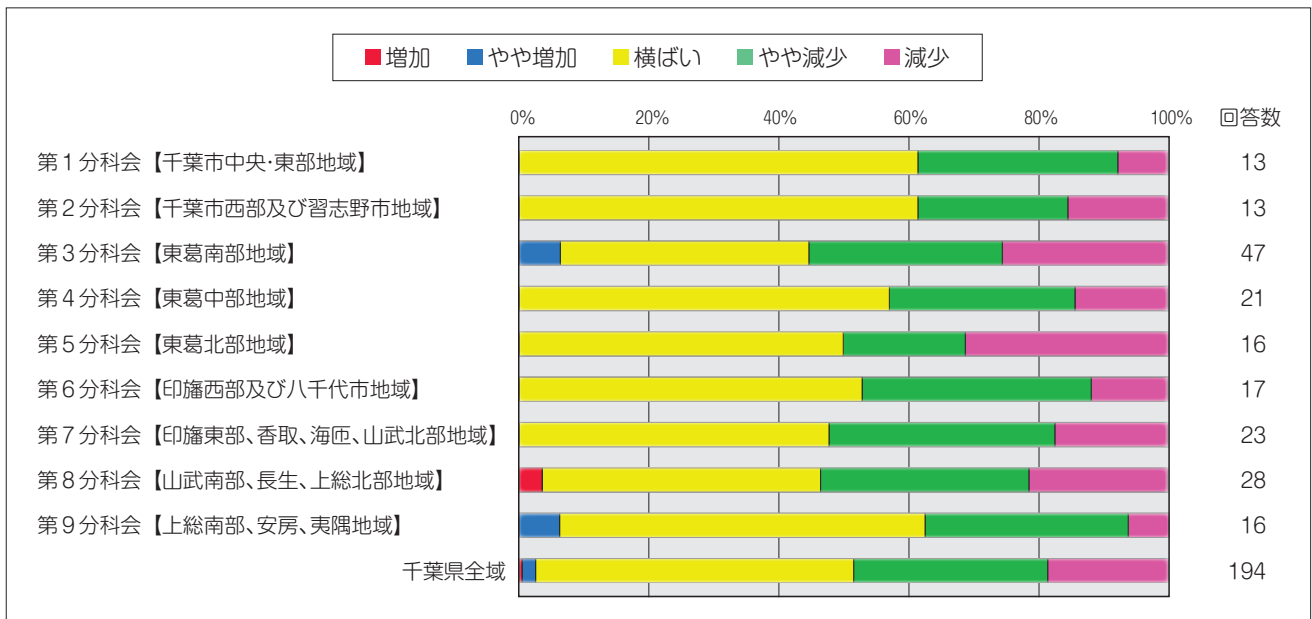
【路線商業地の取扱件数】

路線商業地の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多い。次いで「やや減少」、「減少」となっており、「やや増加」の回答は比較的少ない。



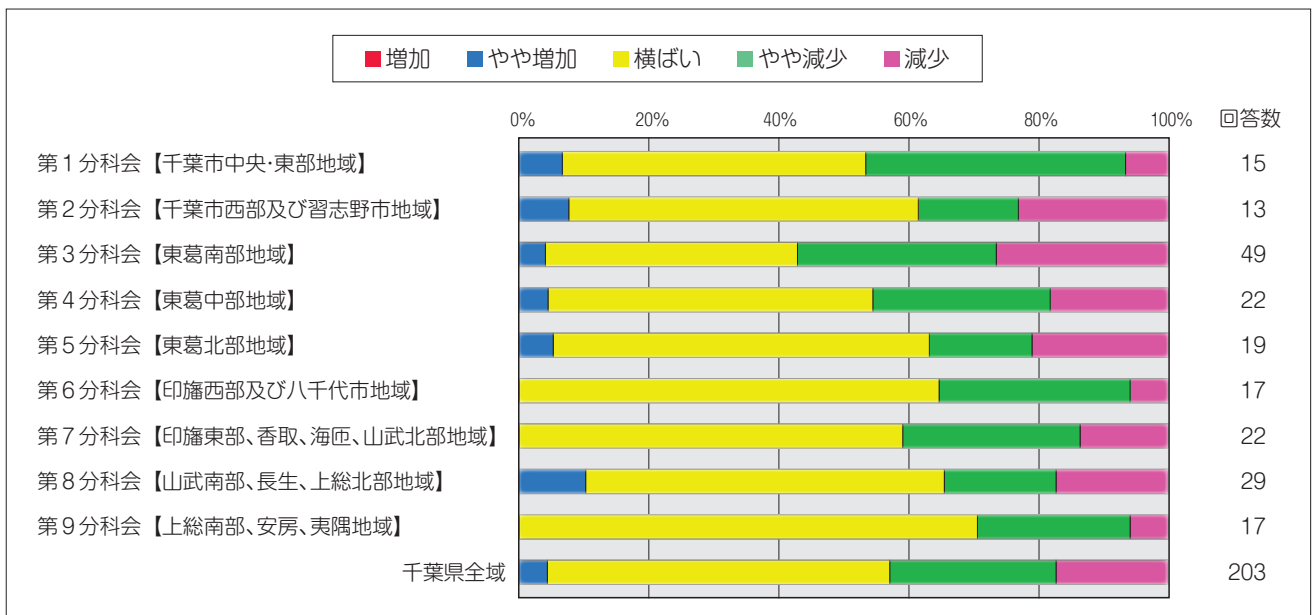
【観光地の取扱件数】

観光地の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多いものの、「やや減少」及び「減少」を合計すると、「横ばい」とほぼ同数となっている。



【オフィス街の取扱件数】

オフィス街の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多い。次いで「やや減少」、「減少」となっており、「やや増加」の回答は比較的少ない。
最も回答数の多かった第3分科会では、「減少」及び「やや減少」の合計の割合が多く、同分科会内の約60%を占めている。

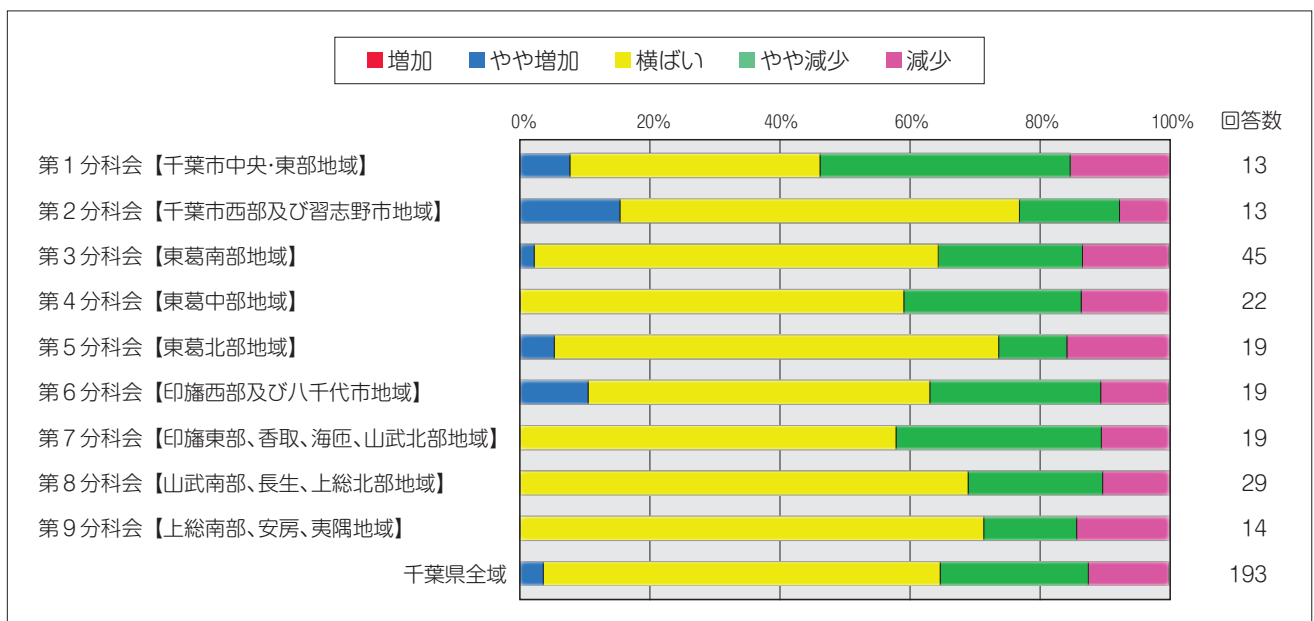


問6 工業地の現在（令和2年8月1日）の取扱件数は、
年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少
製造業等の工業地	0.0%	3.6%	61.1%	22.8%	12.4%
輸出産業の多い工業地	0.0%	2.2%	60.7%	24.7%	12.4%
倉庫等、流通業務用地	0.5%	8.8%	56.5%	22.3%	11.9%

【製造業等の工業地の取扱件数】

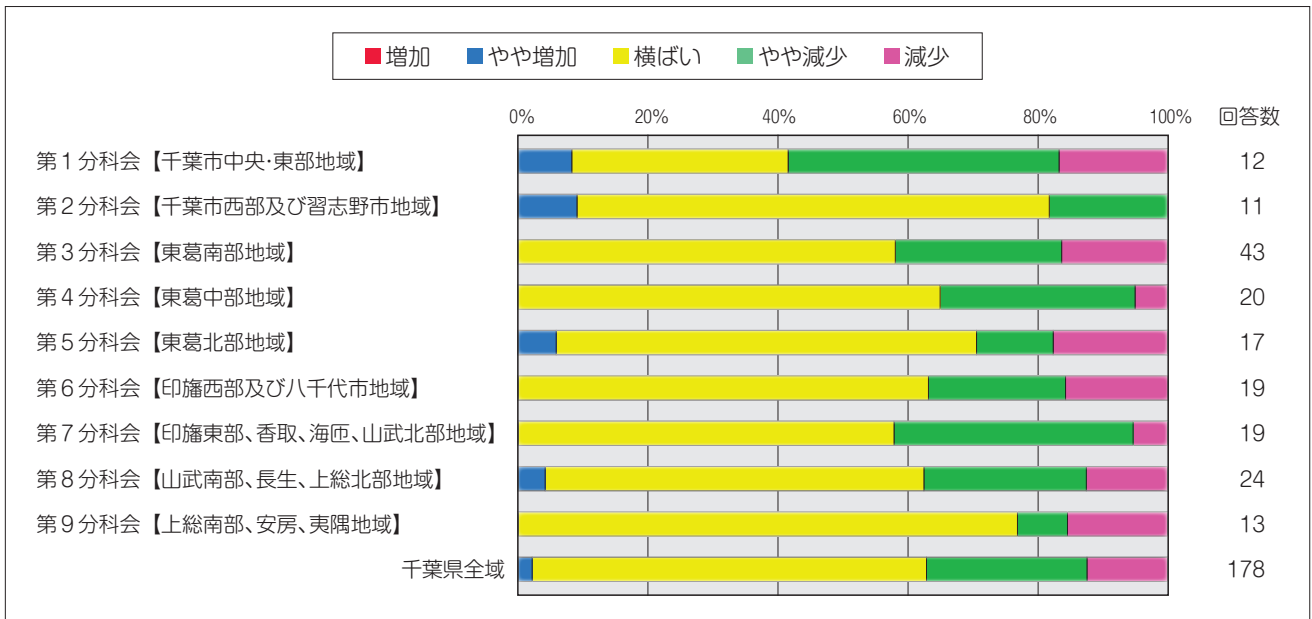
製造業等の工業地の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多い。次いで「やや減少」、「減少」となっている。
第1分科会では、「減少」及び「やや減少」の合計の割合が多く、同分科会内の50%以上を占めている。



【輸出産業の多い工業地の取扱件数】

輸出産業の多い工業地の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多い。次いで「やや減少」、「減少」となっている。

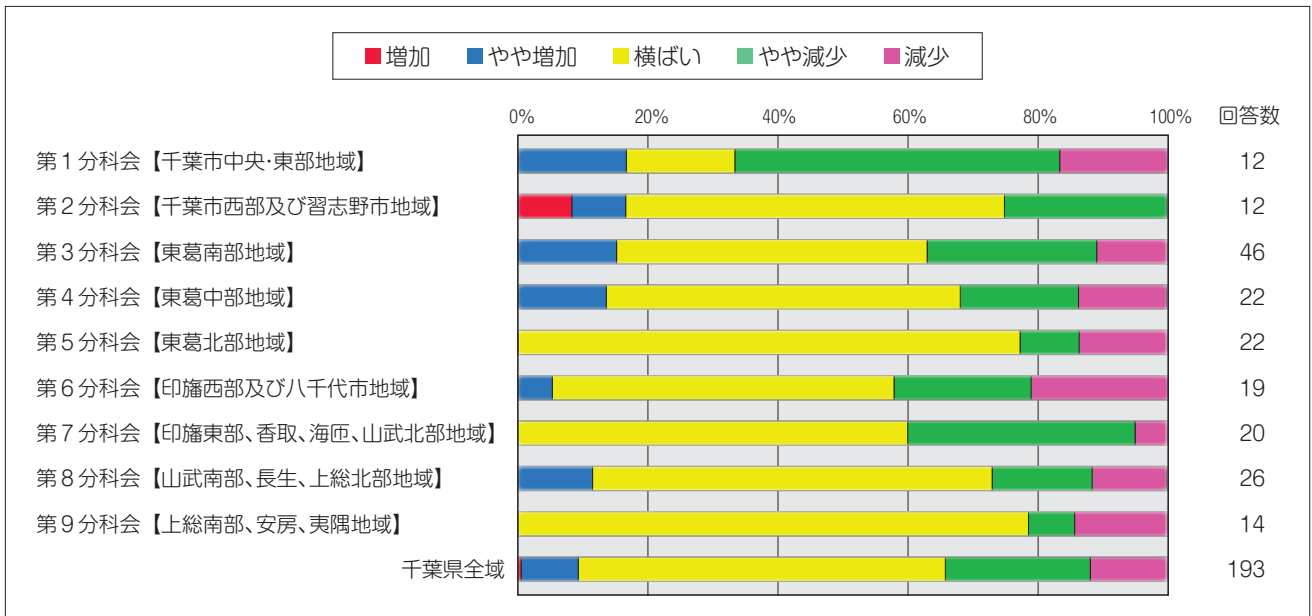
第1分科会では、「減少」及び「やや減少」の合計の割合が多く、同分科会内の約60%を占めている。



【倉庫等、流通業務用地の取扱件数】

倉庫等、流通業務用地の取扱件数は、「横ばい」の回答が最も多い。次いで「やや減少」、「減少」となっている。

第1分科会では、「減少」及び「やや減少」の合計の割合が多く、同分科会内の60%以上を占めている。



営業地域についての個別的・具体的な内容（分科会別）

問1 住宅地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、
年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

第1分科会【千葉市中央・東部地域】

- ・マンション用地、農家集落地の扱いが無いので不明です。
- ・駅周辺は少し上がっていると思われます。
- ・コロナとオリンピック延期の影響で地価は確実に下落しています。
- ・事業用融資（一棟アパート、マンション）が融資様子見の金融機関が多く、査定も短期資金需要が多いのか、話があっても進まない。
- ・当社は企業グループ付戸建土地を扱っていますがここ数か月はむずかしいようです。

第2分科会【千葉市西部及び習志野市地域】

- ・新型コロナの影響でいつ頃に収まるのか（年内・来年・2～3年等）によっても今後の動向が全く異なる為、当面はやや下落と思われますが……。
- ・戸建用地、商業用地取引鈍い。

第3分科会【東葛南部地域】

- ・コロナウィルスの影響で不動産価格が大幅に下落するかと思われたが、今のところ大きな変化はありません。今後影響がでてくると考えられます。
- ・全体的な売出し価格は以前と差程変わらないが交渉幅が大きく出来る様になりました。
- ・令和2年7月8月と建売業者が住宅地を購入しました。
- ・コロナウィルスの影響は4・5・6月では余り感じなかったが7月以降で少し動きが鈍いようです。
- ・物件数が少ないと思います。
- ・主として住宅地を扱っていますが昨年よりもやや強めの価格となっていると感じる。特に売出し価格はけっこう強気の値段が目立つ。実際にいくらで売れているかはわからないが、かなりの高水準にあると思います。ただし場所による格差が大きい。
- ・取引事例が無いため、実態は不明。
- ・船橋全体であれば横ばいややや下落傾向。JR本線エリアについてはやや上昇傾向が伺えます。
- ・相対的に見るとやや下落ですが駅10分以上の徒歩距離では下落傾向。
- ・用地の売却相談が減少しています。

第4分科会【東葛中部地域】

- ・生産録地解除の様子見。
- ・戸建用地については坪単価ではなく1宅地あたりの単価で売買を実施。
- ・マンション用地、農家集落地は取り扱った実績なしです。
- ・借地売買だけでしたので、他はあまり判りませんが他の事例から横ばいか、下落かと話しています。
- ・TX沿線はここ数年上昇しつづけていたが、横ばいに近いやや上昇と思われます。
- ・路線価格÷0.8で計算して時価を割り出す。公示価格を参考にして時価を算出するも、取引価格はそれらより著しく低いのが現実です。コロナ感染状況も関係あるかもしれません。

第5分科会【東葛北部地域】

- ・人口減少で下落傾向。
- ・全体としては横ばいだと思います。倉庫用地の引き合いは、活発です。

第6分科会【印旛西部及び八千代市地域】

- ・商談内容は路線価、公示価等より20%位で廻る事から開始して最終的に10%位で商談成立する様な事が多いです。

第7分科会【印旛東部、香取、海匝、山武北部地域】

- ・大手建売メーカーが条件無し土地売りをした場合1.6倍位で販売するケースがありますので地域によっては販売事例が上下する。
- ・富里インターから富里市役所の中間点を中心に戸建用地については成田市が価格が（中心）下がっていないので比較的、購買力は強いし売れています。
- ・パワービルダーの建売は完販しています。
- ・消費税増税で消費意欲が減退した所でコロナショックが加わり、更に動きが減っています。人口動態を考えると更なる下落が予想されます。
- ・景観が良く利便な土地は、安い価格ながら、購入する客が現れるようになりました。

第8分科会【山武南部、長生、上総北部地域】

- ・茂原は昨年水没してから人気がないです。
- ・東金市中心市街地にあっては上昇の傾向にあります。
- ・コロナ渦の影響はこれからだと思います。短期的に統計を取る必要があると思います。
- ・4月上旬に建売業者と契約予定だった土地が緊急事態宣言でストップになり、8月に契約した時には△3.8%下落金額でした。
- ・田舎に住みたい、という方が（都内・横浜から）増えておりますが、農地法や水道がないなどで田舎に住む土地がない様です。又、駅まで10分圏内であれば高価格で売買されております。
- ・地価の変化はないが、流通量は上昇しているように感じる。（成約が多くなっています）

第9分科会【上総南部、安房、夷隅地域】

- ・土地のみ取得者（購入のお客様）全くありません。新築需要がない地域のため土地のみは売りあびせ情体です。毎日一件の土地売り物件が発生する地域です。

問2 商業地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、 年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

第1分科会【千葉市中央・東部地域】

- ・全体的に停滞していたようです。
- ・商業地はよく分からない。住宅地は横ばい。
- ・住宅地よりは影響は、大きいとされます。

第2分科会【千葉市西部及び習志野市地域】

- ・新型コロナの影響でいつ頃に収まるのか（年内・来年・2～3年等）によっても今後の動向が全く異なる為、当面はやや下落と思われそうですが……。

第3分科会【東葛南部地域】

- ・観光地、オフィス街のない地域です。
- ・市川市行徳地区においては商業地域が狭小の為比較不可能。
- ・営業エリアに商業地はない。
- ・あまり取扱わないのでよくはわかりませんが、住宅地ほどの高どまりや安定感はないように思います。
- ・取引事例が無いため実態は不明。
- ・エリアによって格差が伺えます。
- ・流通量が少ない 未だ、相場への影響は限定的だと考えます。
- ・新型コロナウイルスの影響により、引合いが少なく、事例が出しにくい状況。

第4分科会【東葛中部地域】

- ・コロナの影響による様子見。
- ・観光地、オフィス街 取り扱いなしです。
- ・人口減少・高齢化・空き家の増加がマイナス要因。国や自治体の空き家対策はほとんど掛け声だけ。空き家の増加（処分と利用が、あまり進まないのが）住宅地の劣化につながっています。

第5分科会【東葛北部地域】

- ・人々が食べて行ける時代に肯の時代に合って行くのではないかと思います。
- ・本設問に概当する案件及び商業地等の扱いが全くないため不明。
- ・場所の良い駅前付近は、やや上昇しています。

第7分科会【印旛東部、香取、海匝、山武北部地域】

- ・富里市には駅が無いので、商業地が少ない。販売等出れば希少物件だと思います。
- ・基本的に需要が少ない。

第8分科会【山武南部、長生、上総北部地域】

- ・商業地はさびれたままだが、水没をまぬがれたのでおすすめはしています。観光地にはコロナの上、オリンピックも延期、なくなりそうなので全く駄目ですね。
- ・住宅地が少ないため 商業地であっても宅地として買う方が増えてます。
- ・商業は動いていないです。

第9分科会【上総南部、安房、夷隅地域】

- ・その前に来店ナシ。
- ・当いすみ地域は商業地の評価地域はありません。

**問3 工業地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、
年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。**

第1分科会【千葉市中央・東部地域】

- ・政府の緊急経済対策の無利子貸付による購入を検討する方々が動いているように思います。

第3分科会【東葛南部地域】

- ・工業地・商業地の取扱いがもともとあまりない。
- ・エリアに工業地はない。
- ・取引事例が無いため、実態は不明。
- ・物件自体が少ないのでやや上昇傾向。
- ・取扱実績がなくわかりません。
- ・比較的売地が少い為 横ばいを維持しています。
- ・扱いがほとんどないため不明。

第4分科会【東葛中部地域】

- ・読めない。
- ・取扱いが無いので正直不明です。
- ・私ども、あまりあつかいが無いのでわかりません。

第7分科会【印旛東部、香取、海匝、山武北部地域】

- ・富里エリアは工業団地以外、インター周辺の一部でしか用途が限られていますため物件があれば賃貸、売買も含めて需要はあります。
- ・製造業・輸出産業用地の取引はありません。
- ・富里市は調整区域の為、倉庫・物流の工業団地が不足しています。
- ・自動車の輸出を業いとする外国人が多い土地柄の為、戸建用地に自動車を置く目的で安い土地を買付けています。
- ・バブル期に土地を購入したシルバー世代が終活の為、安い指値でも売買に応じる傾向にあります。
- ・成田空港周辺で広い土地（約3,000坪）の需要がありますが、供給がない。

第8分科会【山武南部、長生、上総北部地域】

- ・大網は工業地がないため不明。
- ・該当地域がない。

第9分科会【上総南部、安房、夷隅地域】

- ・当地域（いすみ市）は工業地域はありません。

**問4 住宅地の現在（令和2年8月1日）の取引件数は、
年初（令和2年1月1日）と比較してどのようになっていますか。**

第1分科会【千葉市中央・東部地域】

- ・マンション用地、農家集落の扱いが無いので不明です。
- ・コロナの影響で一時期全く動かなくなりましたがその反動で今は売買が一気に加速しました！！
- ・基本的にありません。

第2分科会【千葉市西部及び習志野市地域】

- ・農家集落地の取扱はこの期間はありません。

第3分科会【東葛南部地域】

- ・不動産の動きは鈍い
- ・コロナウィルスの影響は4・5・6月では余り感じなかったが7月以降で少し動きが鈍いようです。
- ・コロナ渦の影響でお客様は少ない。しかしこんな状況下でも探している人はいて、少々の高値でも成約しています。住宅地で条件のいいところは今後も価格は安定していくものと思われれます。
- ・取引事例が無いため、実態は不明です。
- ・エリアによって上昇傾向もあります
- ・情報量が減少しています。

第4分科会【東葛中部地域】

- ・弊社土地開発が主な仕事のため、年初との比較はできません。
- ・マンション用地、農家集落地は取り扱いしないので不明です。
- ・全体の物件量は、少なくなったと思います。

第5分科会【東葛北部地域】

- ・農家集落、マンションは取引なしです。
- ・交通の便利な所、環境の良い所は、やや上昇です。

第6分科会【印旛西部及び八千代市地域】

- ・相続案件を扱う都合上開発がらみ案件が多く現在は例年以上に案件が多くなって居ます。但し商談金額は厳しいです。

第7分科会【印旛東部、香取、海匝、山武北部地域】

- ・2棟から5棟以内の小さいものしか現在ないため物件自体があればメーカー等の購買する意志はある状況です。今年11月に10区画の住宅用地については買主が既に決まっています。
- ・農家集落、田・畑の売却希望は増加しています。取引が成立していないので販売していません。
- ・順調に減っています。又、コロナ渦による自宅待機で熟考時間ができたのか売却希望者は増えています。
- ・シルバー世代の終活の為、売却希望が増加。

第8分科会【山武南部、長生、上総北部地域】

- ・問1にも記載しましたが、中心部についてはハウスメーカーからの問い合わせや建売業者からの依頼が増えています。それらの需要はあるものの、供給がなく取扱件数が増えません。
- ・コロナの影響を感じます。
- ・戸建用地を求めている人が減少（6月7月）

第9分科会【上総南部、安房、夷隅地域】

- ・当地域で土地だけ求める需要（買主）は全くありません。新規需要が無いため、唯一中古住宅需要（価格が安い）のみ存在する地域です。

問5 商業地の現在（令和2年8月1日）の取引件数は、
年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

第3分科会【東葛南部地域】

- ・エリアに商業地はない。
- ・取引事例が無いため実態は不明。
- ・もともと流通量は少ない

第4分科会【東葛中部地域】

- ・観光地、オフィス街取扱い無し不明。
- ・比較できるだけの実績がありません。
- ・都心から郊外へ移転の動きが感じられます。都心集中から郊外へ分散する動き。コロナの影響、新しい生活様式を指向しているものと思われれます。

第7分科会【印旛東部、香取、海匝、山武北部地域】

- ・特に変化なしです。但し売却物件が出れば即売地域と思われれます。
- ・増税後は必ず減ります。本番はこれから。

第8分科会【山武南部、長生、上総北部地域】

- ・コロナで廃業や閉店したところを（売買、賃貸含む）処分したい人や貸したい人から預かるので物件は増えています。
- ・コロナ渦による閉店も見られますが、新規出店・開業（業態変更を含む）の希望も出ています。
- ・大網は工業地がなく商業地も少ないので何とも言えない部分があります

第9分科会【上総南部、安房、夷隅地域】

- ・当地域は商業地評価はほぼありません。

問6 工業地の現在（令和2年8月1日）の取引件数は、
年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

第1分科会【千葉市中央・東部地域】

- ・問い合わせは多くても、売り物件がありません。

第2分科会【千葉市西部及び習志野市地域】

- ・工業用地の取扱いはこの期間ありません。

第3分科会【東葛南部地域】

- ・エリアに工業地はない。
- ・取引事例がないため、実態は不明。
- ・取引実績がなく、わかりません。

第4分科会【東葛中部地域】

- ・工業地も取り扱っていないので不明です。
- ・比較できるだけの実績がありません。

第7分科会【印旛東部、香取、海匝、山武北部地域】

- ・倉庫・流通・物流の工業団地が出れば即売だと思われます。

第8分科会【山武南部、長生、上総北部地域】

- ・該当地域がない

第9分科会【上総南部、安房、夷隅地域】

- ・当地域はナシ。
- ・取引件数がありません。

○

【3】千葉県内不動産市場動向アンケートの結果の分析（動向指数）

(1) 動向指数とは

動向指数とは、現況や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている。

本調査においては、動向指数として指数化することにより長期の動きを時系列で把握したり、地域間の比較を行ったりすることが容易となる。

(2) 動向指数の算出方法

本調査における動向指数の算出方法は、各判断項目について上昇（増加）から下落（減少）までの5段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して全回答数に対する構成比率を求め、次式により算出する。

《算出方法（例）》

住宅地の価格	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	無回答
回答数	A	B	C	D	E	F

$$\text{動向指数} = \{(A \times 2) + (B \times 1) + (D \times -1) + (E \times -2)\} \div 2 \div (A+B+C+D+E) \times 100$$

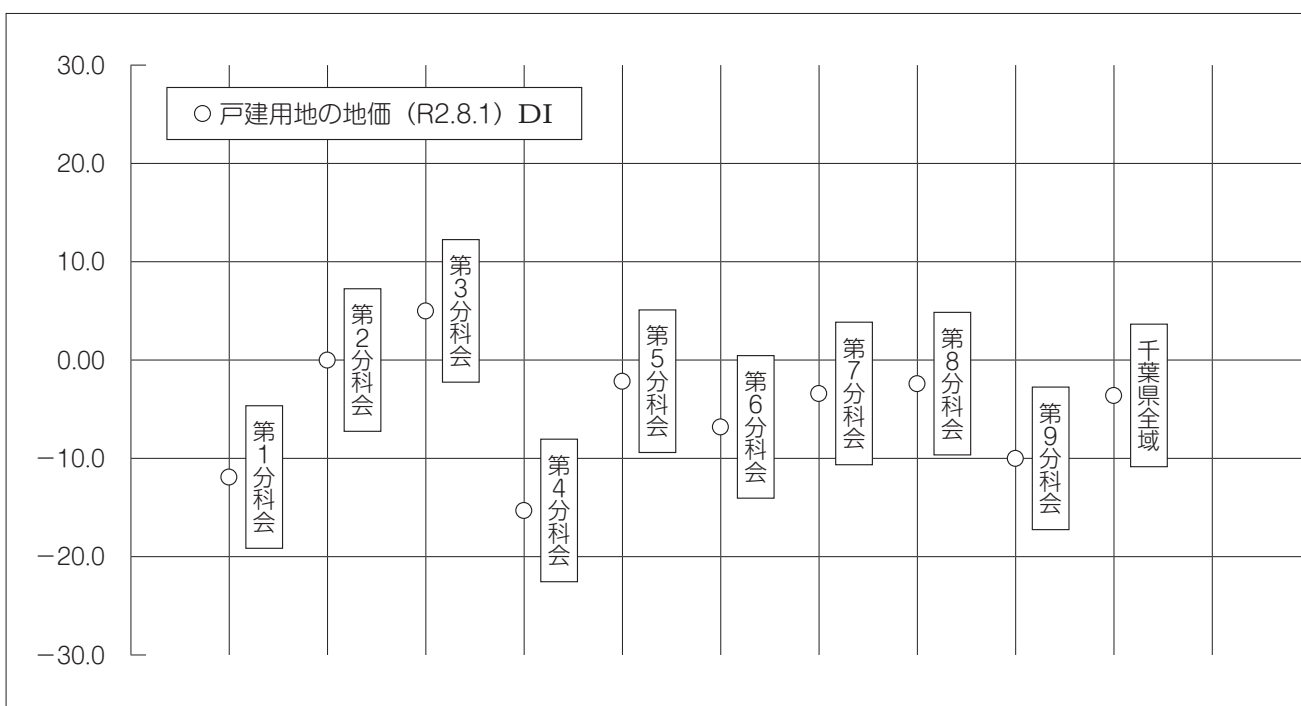
※動向指数が0.0以上となれば回答者は市況に対して前向きに考えていると言え、理論上の動向指数の幅はプラスマイナス100の範囲となる。

●住宅地の地価の動向指数（問1の回答より分析）

【戸建用地の地価】

(R2.8.1) 調査時回答

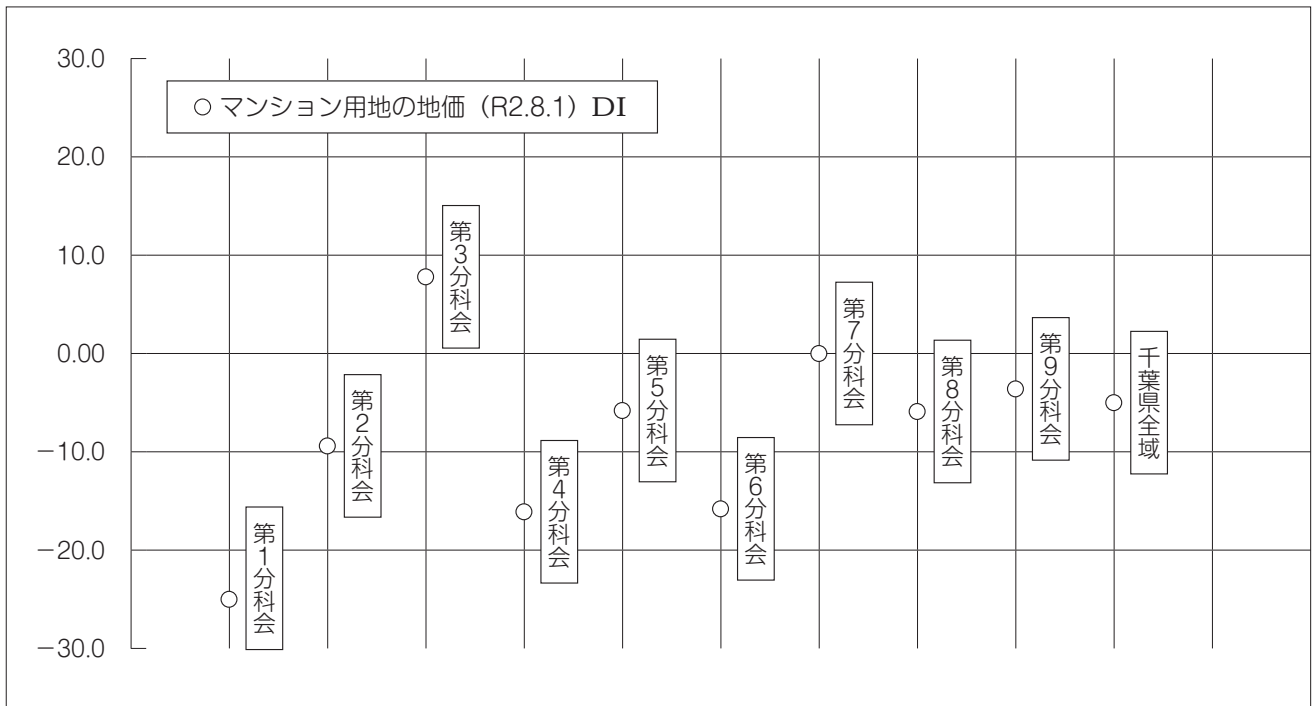
戸建用地の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-11.9	0.0	5.0	-15.3	-1.6	-6.8	-3.4	-2.4	-10.0	-3.6



【マンション用地の地価】

(R2. 8. 1) 調査時回答

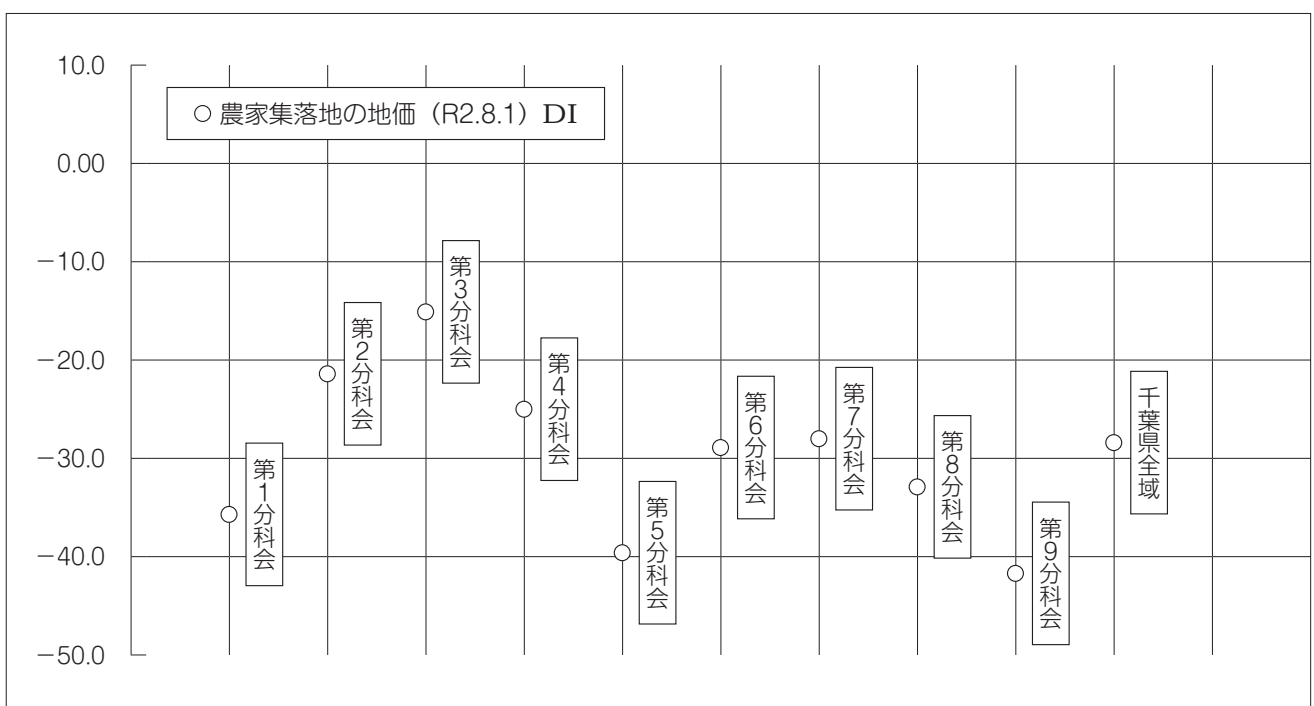
マンション用地の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-25.0	-9.4	7.8	-16.1	-5.8	-15.8	0.0	-5.9	-3.6	-5.0



【農家集落地の地価】

(R2. 8. 1) 調査時回答

農家集落地の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-35.7	-21.4	-15.1	-25.0	-39.6	-28.9	-28.0	-32.9	-41.7	-28.4

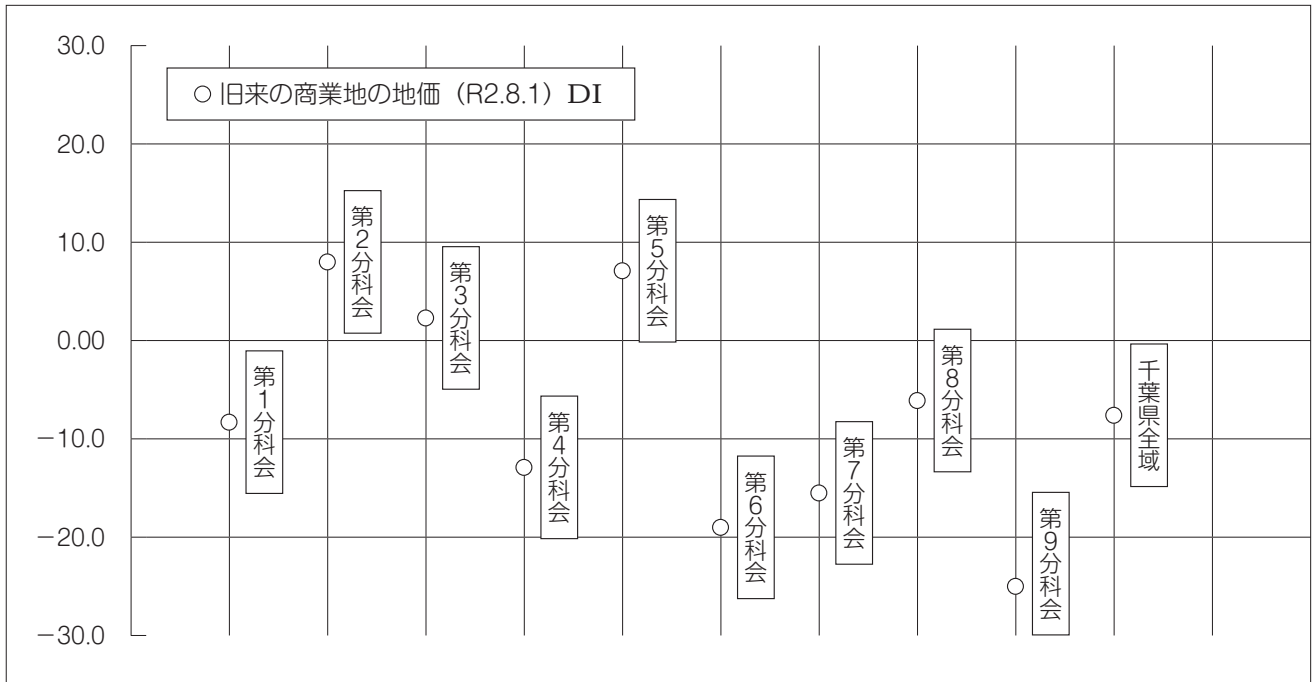


●商業地の地価の動向指数（問2の回答より分析）

【旧来の商業地の地価】

(R2.8.1) 調査時回答

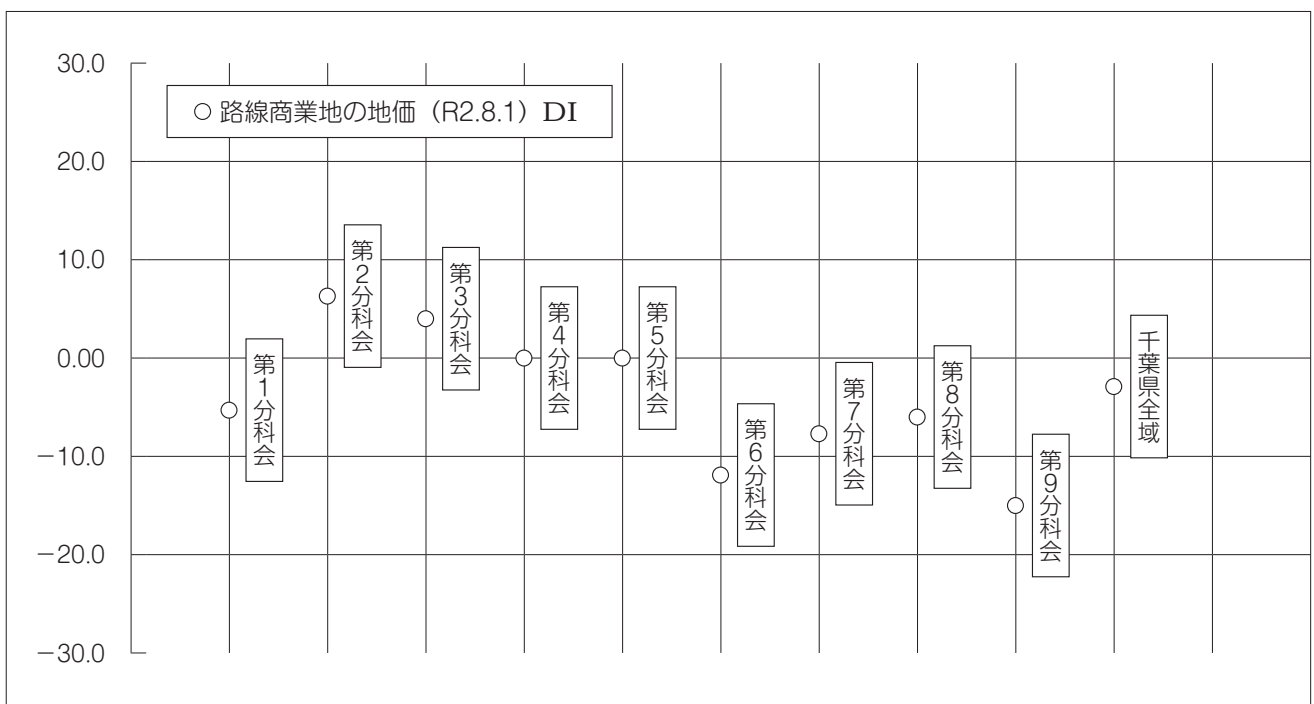
旧来の商業地の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-8.3	8.8	2.3	-12.9	-7.1	-19.0	-15.5	-6.1	-25.0	-7.6



【路線商業地の地価】

(R2.8.1) 調査時回答

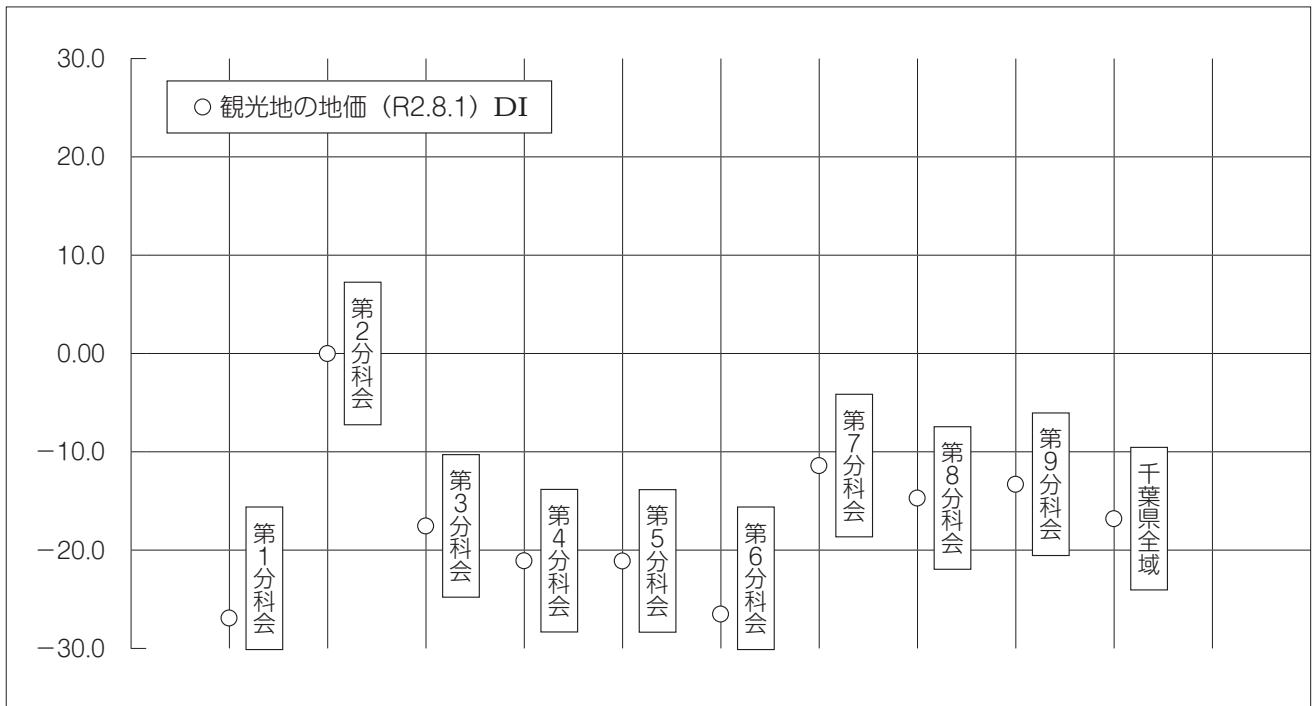
路線商業地の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-5.3	6.3	4.0	0.0	0.0	-11.9	-7.7	-6.0	-15.0	-2.9



【観光地の地価】

(R2.8.1) 調査時回答

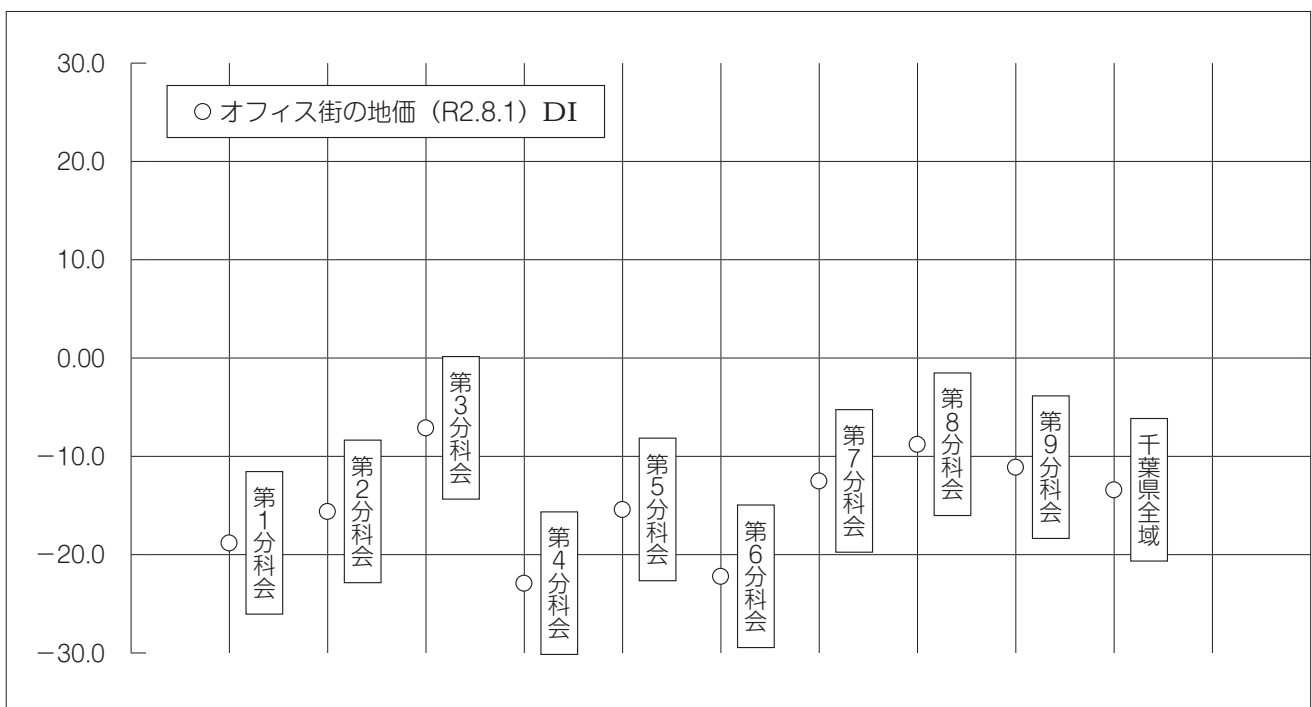
観光地の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-26.9	0.0	-17.6	-20.8	-21.1	-26.5	-11.4	-14.7	-13.3	-16.8



【オフィス街の地価】

(R2.8.1) 調査時回答

オフィス街の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-18.8	-15.6	-7.1	-22.9	-15.4	-22.2	-12.5	-8.8	-11.1	-13.4

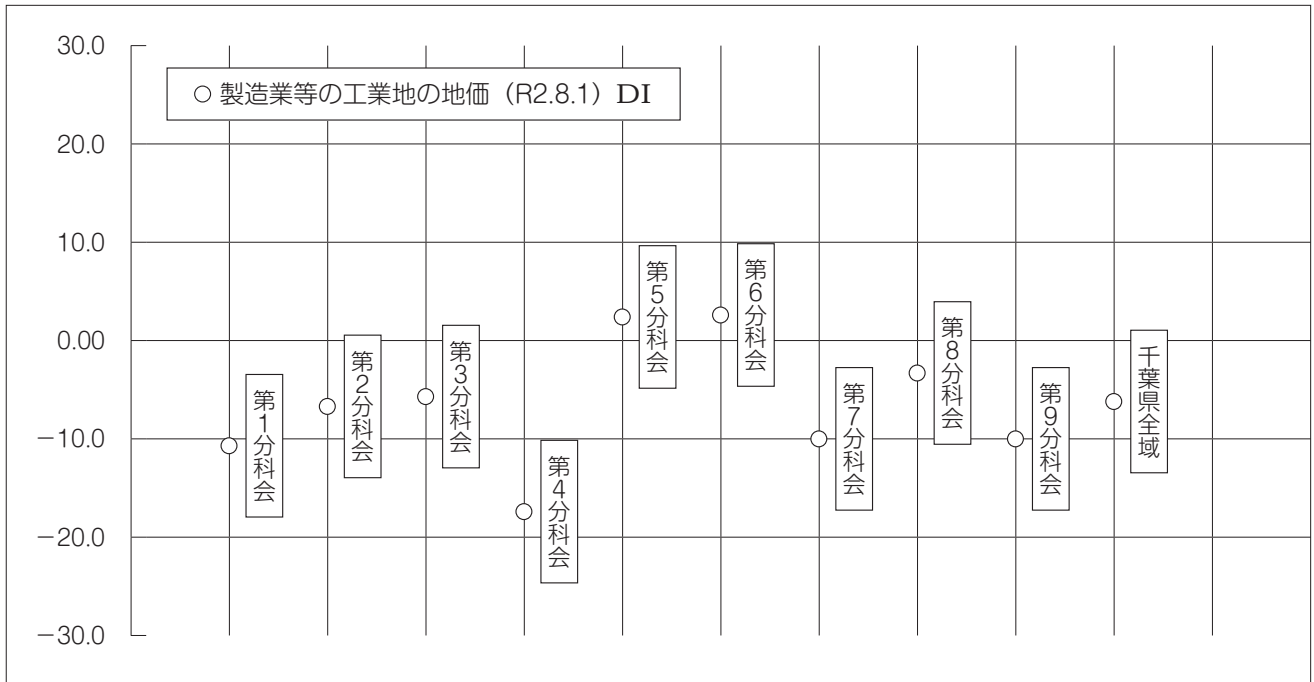


●工業地の地価の動向指数（問3の回答より分析）

【製造業等の工業地の地価】

(R2.8.1) 調査時回答

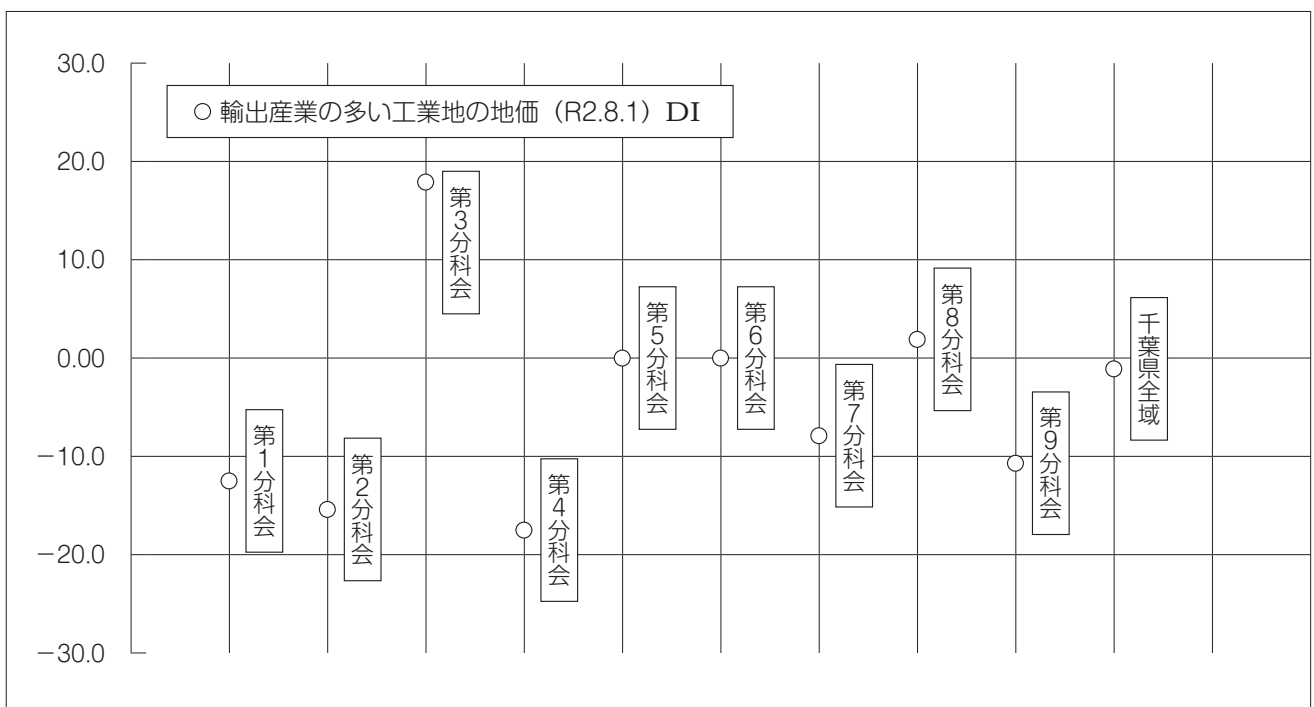
製造業等の工業地の地価	第1分科会 千葉市中央・東部地域	第2分科会 千葉市西部及び習志野市地域	第3分科会 東葛南部地域	第4分科会 東葛中部地域	第5分科会 東葛北部地域	第6分科会 印旛西部及び八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海浜、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、上総北部地域	第9分科会 上総南部、安房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-10.7	-6.7	-5.7	-17.4	2.4	2.6	-10.0	-3.3	-10.0	-6.2



【輸出産業の多い工業地の地価】

(R2.8.1) 調査時回答

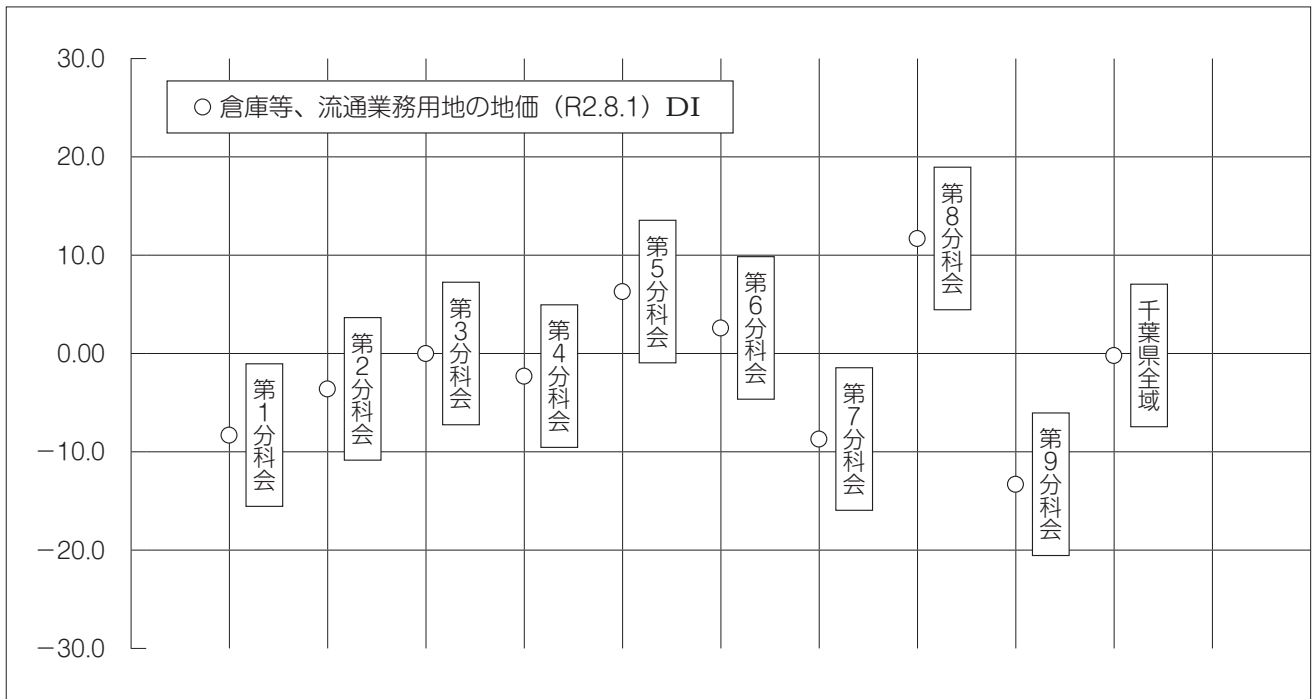
輸出産業の多い工業地の地価	第1分科会 千葉市中央・東部地域	第2分科会 千葉市西部及び習志野市地域	第3分科会 東葛南部地域	第4分科会 東葛中部地域	第5分科会 東葛北部地域	第6分科会 印旛西部及び八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海浜、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、上総北部地域	第9分科会 上総南部、安房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-12.5	-15.4	17.9	-17.5	0.0	0.0	-7.9	1.9	-10.7	-1.1



【倉庫等、流通業務用地の地価】

(R2. 8. 1) 調査時回答

倉庫等、 流通業務用地の地価	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-8.3	-3.6	0.0	-2.3	6.3	2.6	-8.7	11.7	-13.3	-0.2

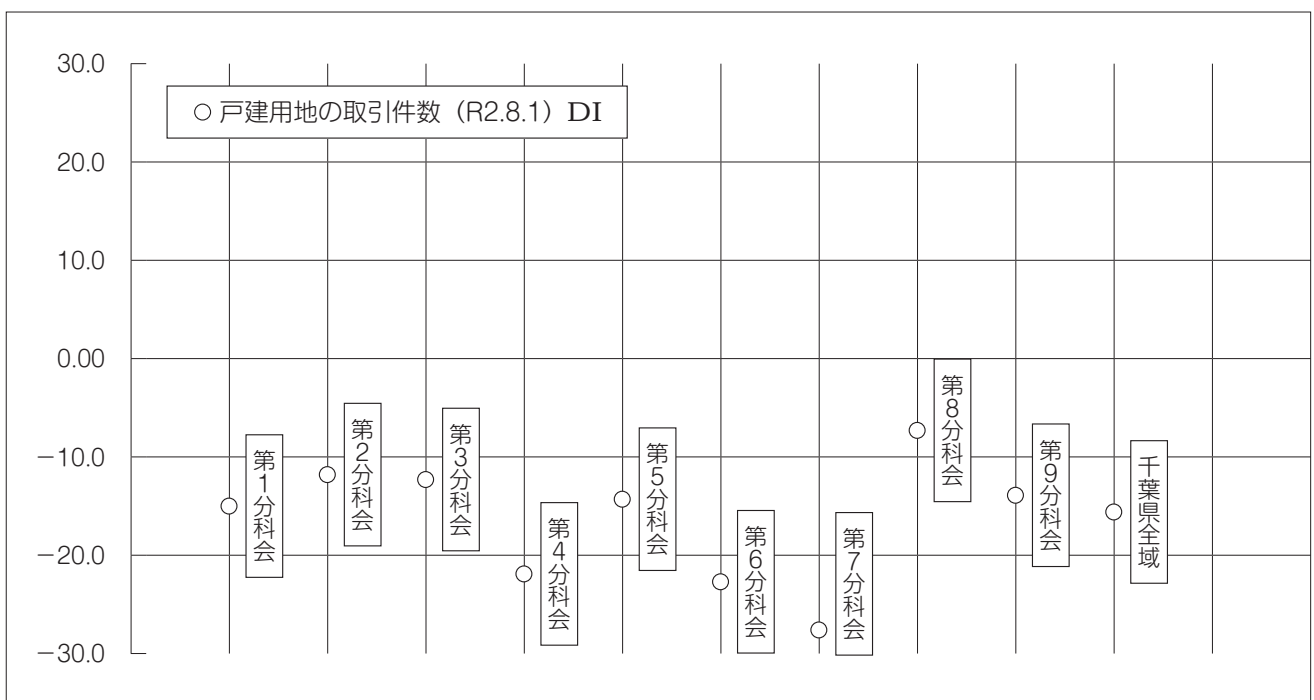


●住宅地の取引件数の動向指数 (問4の回答より分析)

【戸建用地の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

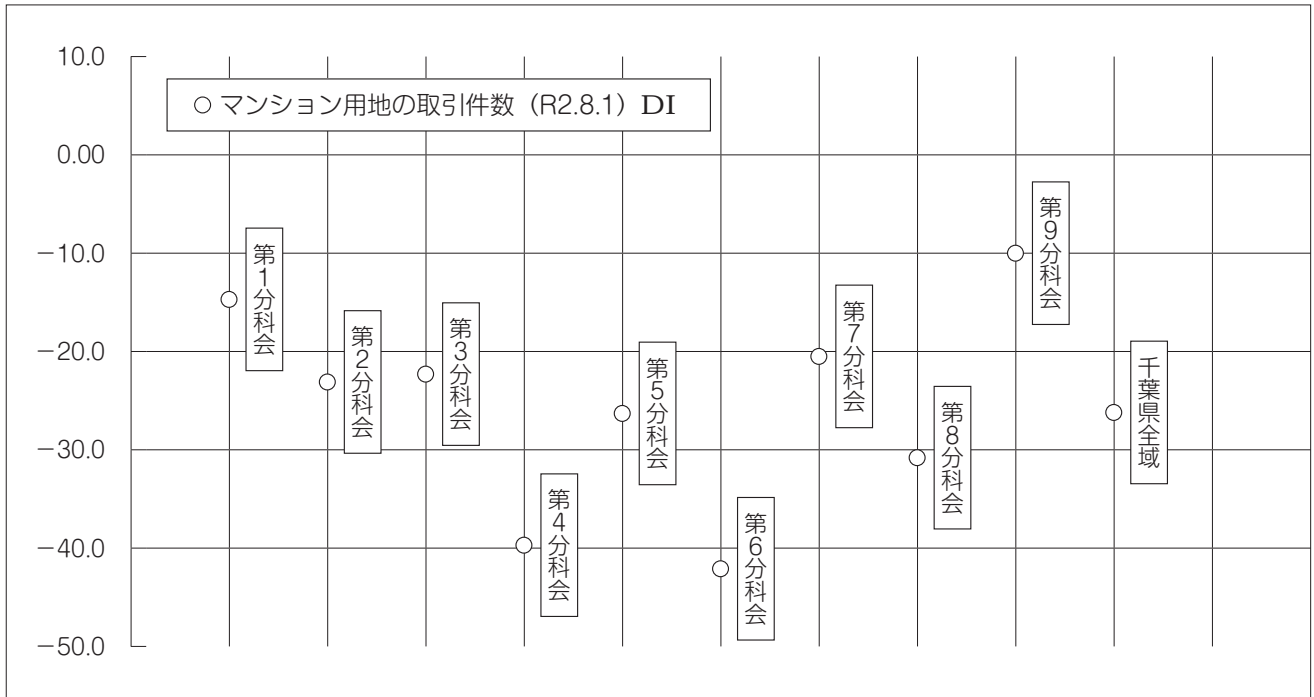
戸建用地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-15.0	-11.8	-12.3	-21.9	-14.3	-22.7	-27.6	-7.3	-13.9	-15.6



【マンション用地の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

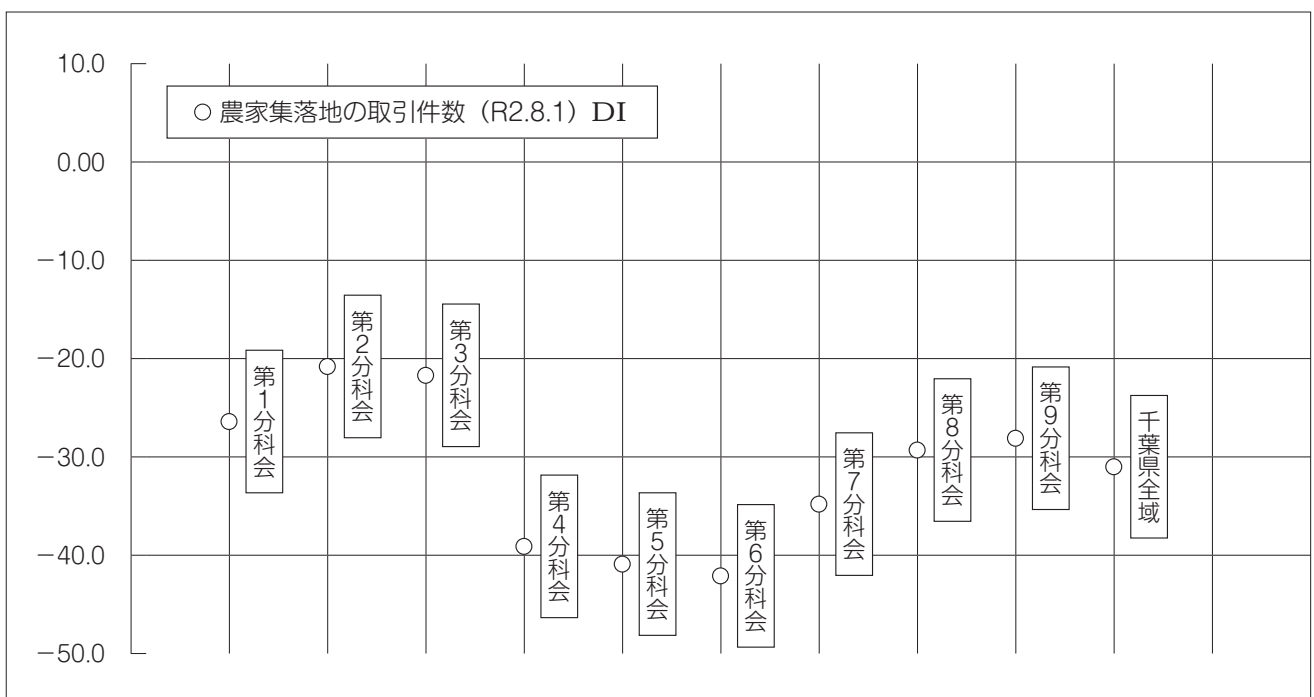
マンション用地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・東部地域	第2分科会 千葉市西部及び習志野市地域	第3分科会 東葛南部地域	第4分科会 東葛中部地域	第5分科会 東葛北部地域	第6分科会 印旛西部及び八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海浜、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、上総北部地域	第9分科会 上総南部、安房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-14.7	-23.1	-22.3	-39.7	-26.3	-42.1	-20.5	-30.8	-10.0	-26.2



【農家集落地の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

農家集落地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・東部地域	第2分科会 千葉市西部及び習志野市地域	第3分科会 東葛南部地域	第4分科会 東葛中部地域	第5分科会 東葛北部地域	第6分科会 印旛西部及び八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海浜、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、上総北部地域	第9分科会 上総南部、安房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-26.7	-20.8	-21.7	-39.1	-40.9	-42.1	-34.8	-29.3	-28.1	-31.0

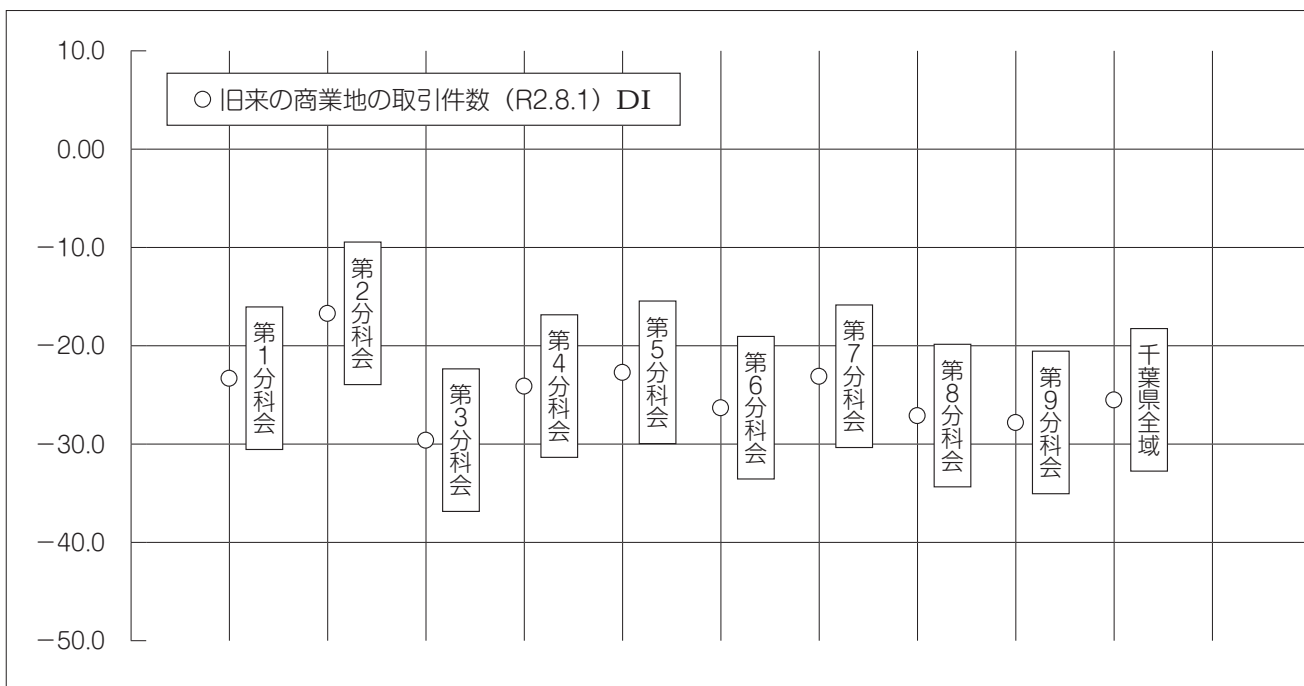


●商業地の取引件数の動向指数（問5の回答より分析）

【旧来の商業地の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

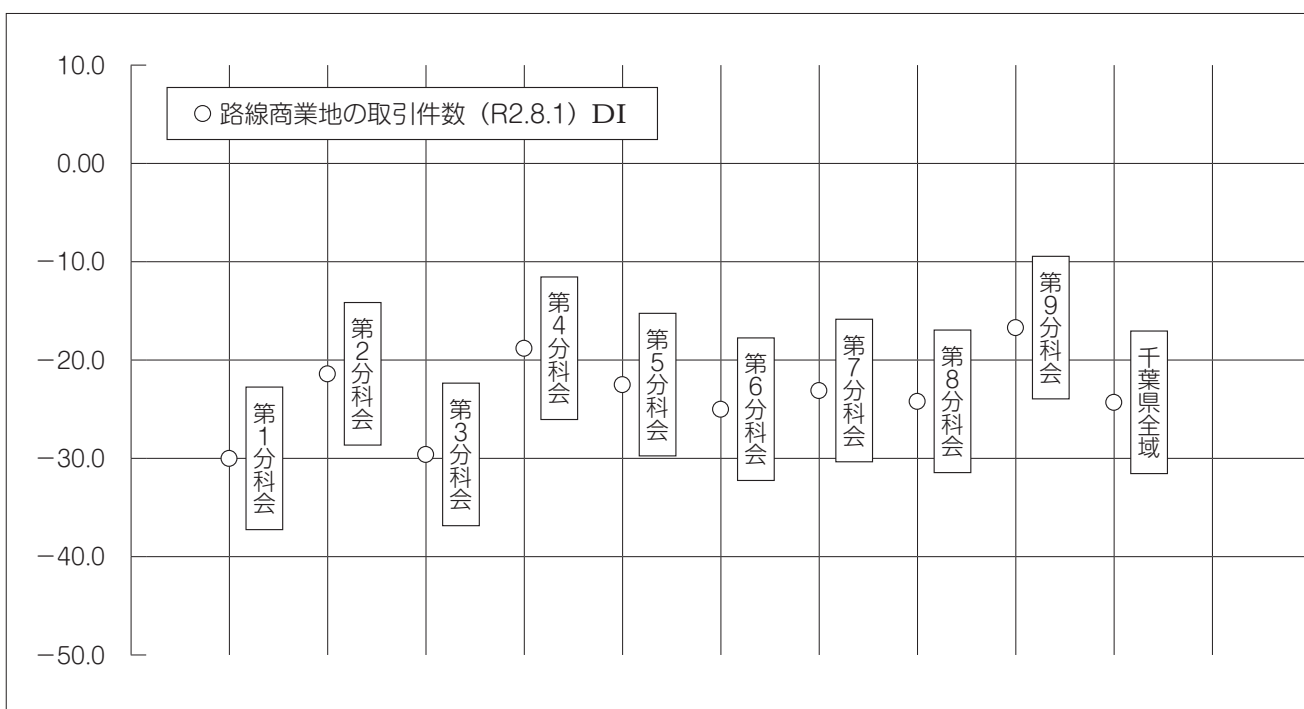
旧来の商業地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-23.3	-16.7	-29.6	-24.1	-22.7	-26.3	-23.1	-27.1	-27.8	-25.5



【路線商業地の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

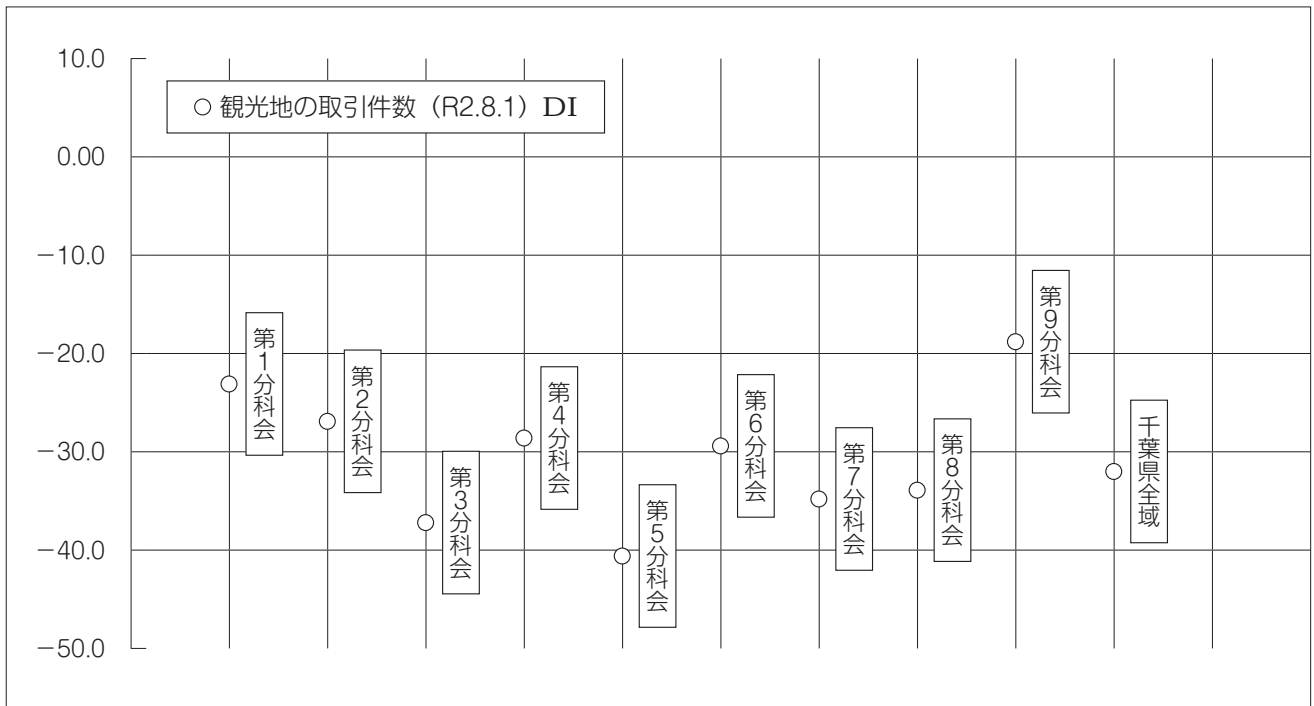
路線商業地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-30.0	-21.4	-29.6	-18.8	-22.5	-25.0	-23.1	-24.2	-16.7	-24.3



【観光地の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

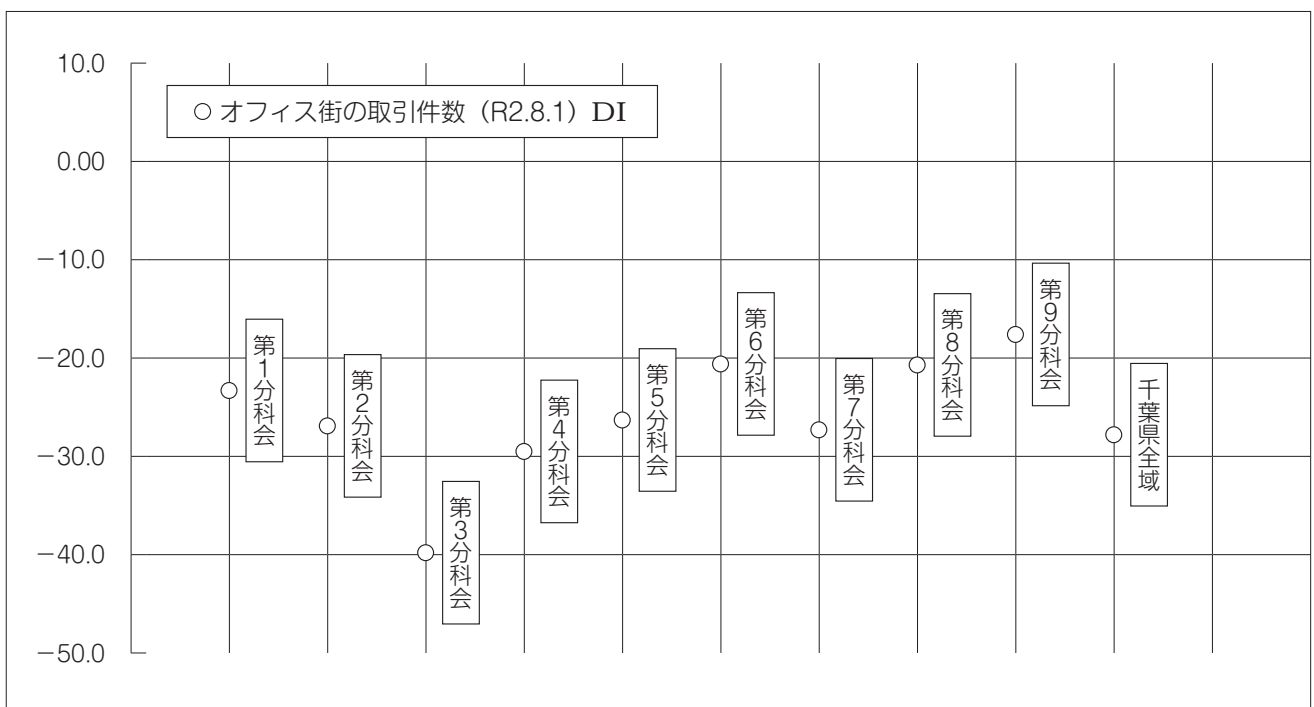
観光地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-23.1	-26.9	-37.2	-28.6	-40.6	-29.4	-34.8	-33.9	-18.8	-32.0



【オフィス街の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

オフィス街の 取引件数	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-23.3	-26.9	-39.8	-29.5	-26.3	-20.6	-27.3	-20.7	-17.6	-27.8

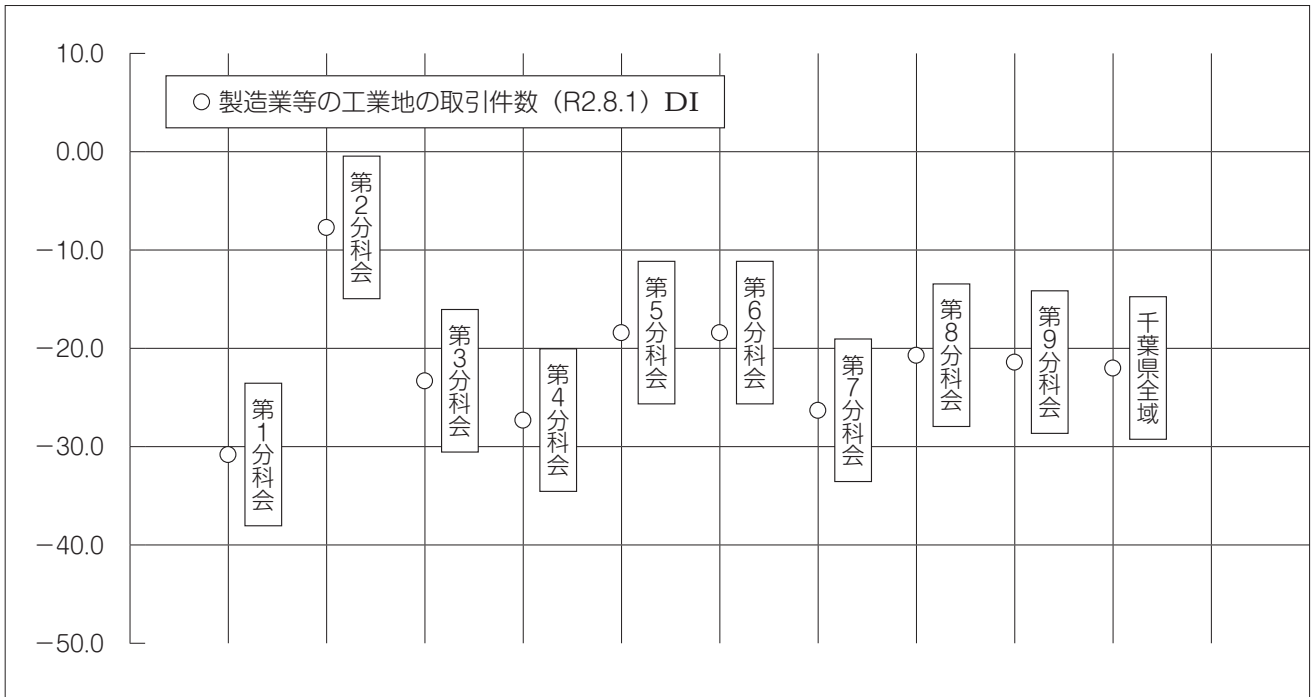


●工業地の取引件数の動向指数（問6の回答より分析）

【製造業等の工業地の取引件数】

(R2.8.1) 調査時回答

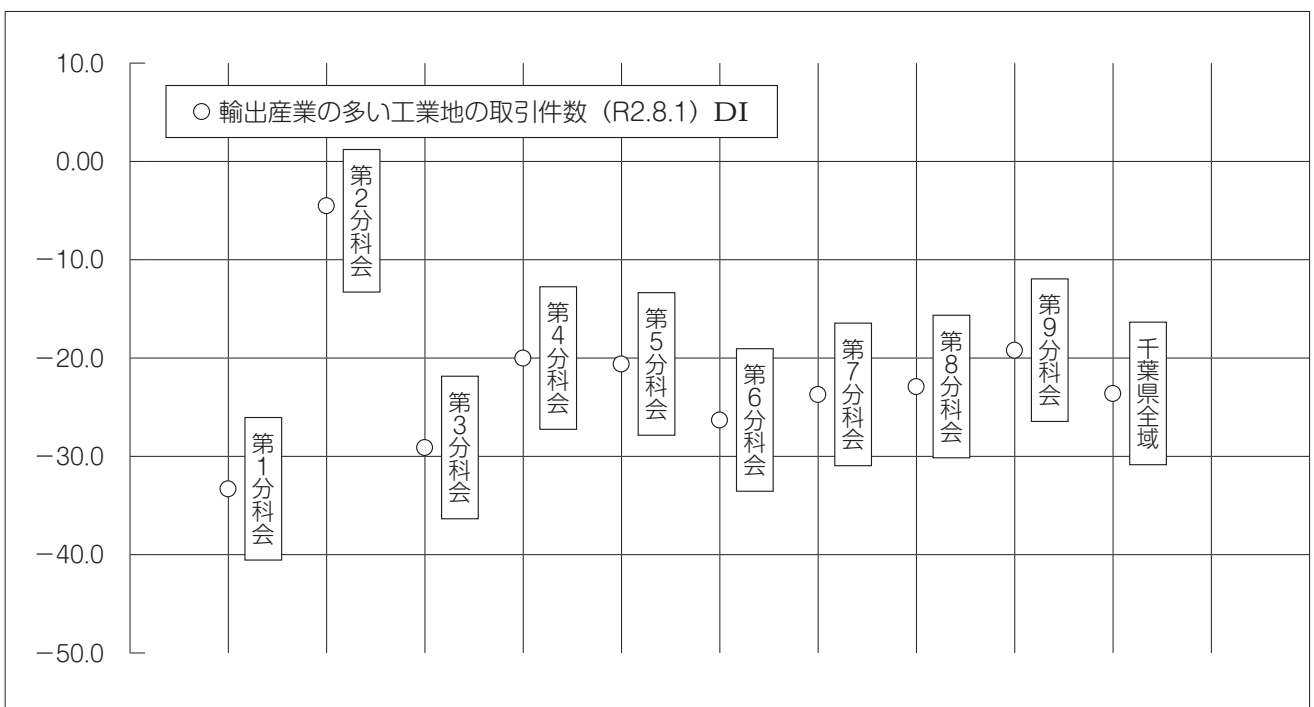
製造業等の工業地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-30.8	-7.7	-23.3	-27.3	-18.4	-18.4	-26.3	-20.7	-21.4	-22.0



【輸出産業の多い工業地の取引件数】

(R2.8.1) 調査時回答

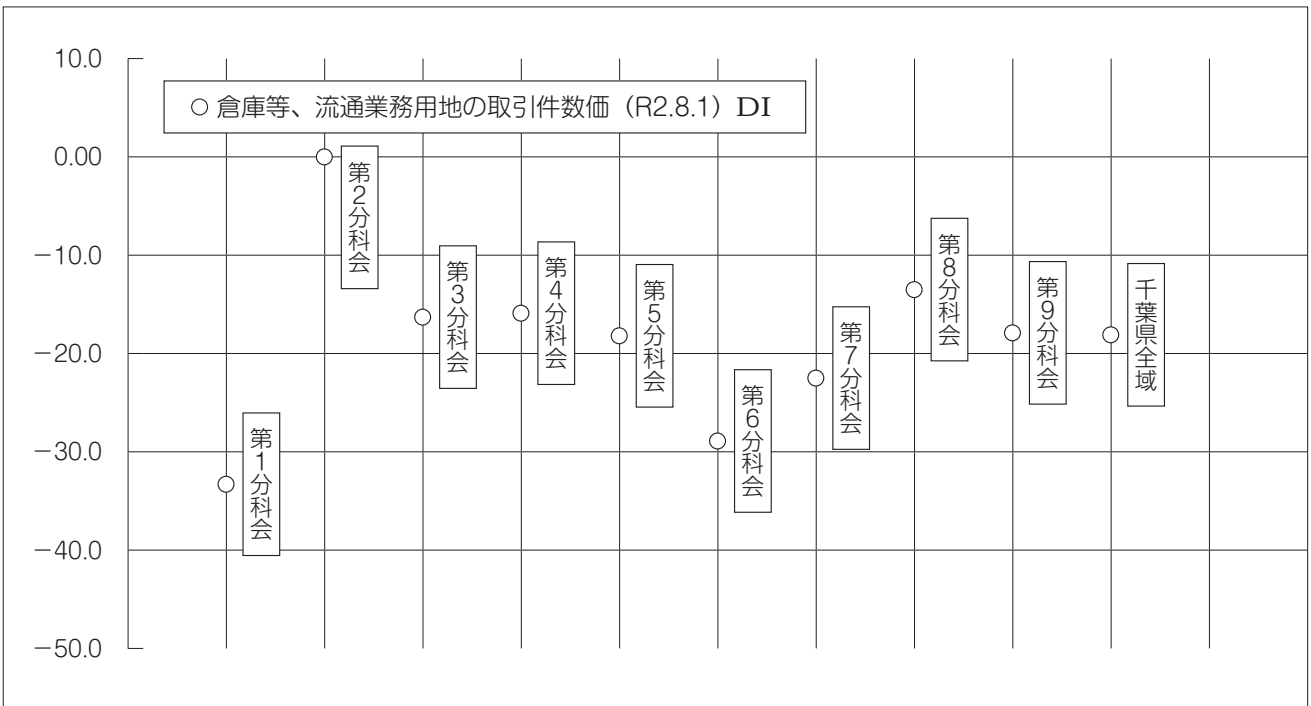
輸出産業の多い工業地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・ 東部地域	第2分科会 千葉市西部及び 習志野市地域	第3分科会 東葛 南部地域	第4分科会 東葛 中部地域	第5分科会 東葛 北部地域	第6分科会 印旛西部及び 八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海 匝、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、 上総北部地域	第9分科会 上総南部、安 房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-33.3	-4.5	-29.1	-20.0	-20.6	-26.3	-23.7	-22.9	-19.2	-23.6



【倉庫等、流通業務用地の取引件数】

(R2. 8. 1) 調査時回答

倉庫等、流通業務用地の取引件数	第1分科会 千葉市中央・東部地域	第2分科会 千葉市西部及び習志野市地域	第3分科会 東葛南部地域	第4分科会 東葛中部地域	第5分科会 東葛北部地域	第6分科会 印旛西部及び八千代市地域	第7分科会 印旛東部、香取、海匠、山武北部地域	第8分科会 山武南部、長生、上総北部地域	第9分科会 上総南部、安房、夷隅地域	千葉県全域
(R2.8.1) DI	-33.3	0.0	-16.3	-15.9	-18.2	-28.9	-22.5	-13.5	-17.9	-18.1



令和2年8月1日時点の千葉県内不動産市場動向アンケート

御社の所在地

御社名（※記載自由）

※(本アンケートは、公表する予定ですが、御社名は一切公表いたしません。アンケート結果を送付するためのみに使用いたしますので、差支えなければ御記入をお願いします。)

★ 県内における取扱件数の最も多い市区町村を必ず **1つだけ** 選んで○をつけて下さい。

注) 2つ以上選択された場合、集計ができませんのでよろしくお願いいたします。

101 千葉市中央区	102 千葉市若葉区	103 千葉市緑区			
201 千葉市花見川区	202 千葉市稲毛区	203 千葉市美浜区	204 習志野市		
301 市川市	302 船橋市	303 浦安市			
401 松戸市	402 流山市	403 鎌ヶ谷市			
501 野田市	502 柏市	503 我孫子市			
601 佐倉市	602 八千代市	603 四街道市	604 印西市	605 白井市	
701 銚子市	702 成田市	703 旭市	704 八街市	705 富里市	706 匝瑳市
707 香取市	708 山武市	709 酒々井町	710 栄町	711 神崎町	712 多古町
713 東庄町	714 芝山町	715 横芝光町			
801 茂原市	802 東金市	803 市原市	804 袖ヶ浦市	805 大網白里市	806 九十九里町
807 一宮町	808 長生村	809 白子町	810 長南町	811 長柄町	812 睦沢町
901 館山市	902 木更津市	903 勝浦市	904 鴨川市	905 君津市	906 富津市
907 いすみ市	908 御宿町	909 大多喜町	910 南房総市	911 鋸南町	

▶ 以下の質問は、前出の主な市区町村の状況についてお答えください。土地の用途分類については、該当するものだけご回答ください。

問1 住宅地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

・戸建用地	1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
・マンション用地	1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
・農家集落地	1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落

※自由意見欄（住宅地の地価動向等について自由にご意見をお書き下さい）

問2 商業地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

・旧来の商業地	1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
・路線商業地	1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
・観光地	1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
・オフィス街	1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落

※自由意見欄（商業地の地価動向等について自由にご意見をお書き下さい）

問3 工業地の現在（令和2年8月1日）の地価の動向について、年初（令和2年1月1日）と比較してどのように感じておられますか。

・製造業等の工業地

1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
-------	---------	--------	---------	-------

・輸出産業の多い工業地

1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
-------	---------	--------	---------	-------

・倉庫等、流通業務用地

1. 上昇	2. やや上昇	3. 横ばい	4. やや下落	5. 下落
-------	---------	--------	---------	-------

※自由意見欄（工業地の地価動向等について自由にご意見をお書き下さい）

--

問4 住宅地の現在（令和2年8月1日）の取扱件数は、年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

・戸建用地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

・マンション用地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

・農家集落地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

※自由意見欄（住宅地の市況等について自由にご意見をお書き下さい）

--

問5 商業地の現在（令和2年8月1日）の取扱件数は、年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

・旧来の商業地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

・路線商業地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

・観光地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

・オフィス街

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

※自由意見欄（商業地の市況等について自由にご意見をお書き下さい）

--

問6 工業地の現在（令和2年8月1日）の取扱件数は、年初（令和2年1月1日）と比較してどうなっていますか。

・製造業等の工業地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

・輸出産業の多い工業地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

・倉庫等、流通業務用地

1. 増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	--------	---------	-------

※自由意見欄（工業地の市況等について自由にご意見をお書き下さい）

--

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

《 編集執筆 》

公益社団法人 千葉県不動産鑑定士協会

調査研究委員会

役 職	氏 名	所 属
担当副会長	佐 藤 元 彦	総合財産鑑定
委 員 長	鈴 木 聡	(株) 鈴木不動産鑑定士事務所
副委員長	菊 地 敦 雄	(有) ニューセンチュリー不動産総研
委 員	印 東 伸 泰	(株) 印東不動産鑑定
//	亀 形 巖	(有) 亀形不動産鑑定事務所
//	黒 田 安 仁	(株) 黒田システム鑑定
//	桑 田 康 彦	カンテイ・オフィス・クワタ
//	佐 藤 嘉 利	佐藤アセットコンサルティング
//	清 水 正	(株) 総武不動産鑑定
//	菅 野 幸 作	菜の花アセットコンサルティング
//	杉 田 隆	杉田不動産鑑定
//	鈴 木 邦 幸	(有) 鈴木邦幸不動産鑑定事務所
//	高 松 芳 壮	(株) 都市開発不動産鑑定所
//	橘 英 雄	(有) 橘不動産鑑定所
//	塚 田 孝 久	(株) ジャパン・アプレイザル
//	戸 村 澄 夫	(有) トムラ不動産鑑定
//	中 島 毅	中島不動産鑑定事務所
//	中 田 敏 之	中田不動産鑑定
//	姫 野 孝	アイリス・アプレイザル(株) 千葉支社
//	三 原 良 作	(有) 三原不動産鑑定システム
//	宮 崎 治 夫	宮崎不動産鑑定事務所
//	森 正 臣	(株) 森不動産鑑定事務所

第8回千葉県不動産市場動向に関するアンケート調査結果

令和2年12月発行

発行人：公益社団法人 千葉県不動産鑑定士協会 調査研究委員会

〒260-0015 千葉市中央区富士見2-22-2 千葉中央駅前ビル5F

TEL 043-222-7588 FAX 043-222-9528

URL <http://www.chiba-chibakanteishi-kyoukai.or.jp/>